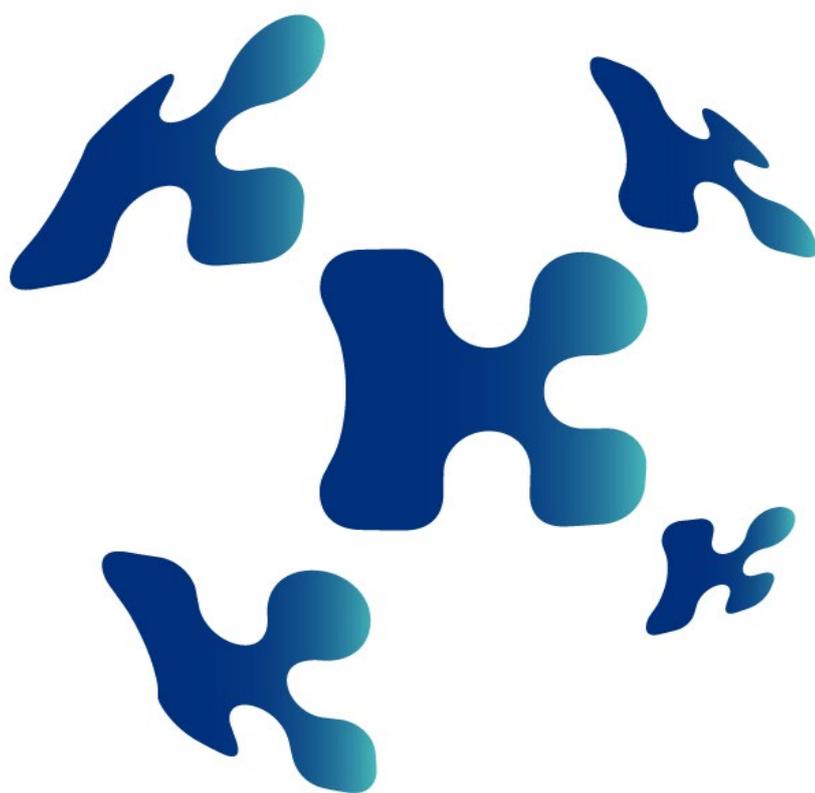


授業概要
Syllabus 2025
作業療法学専攻
(2年次)



高知健康科学大学
University of Kochi Health Sciences

健康科学部 リハビリテーション学科 シラバス 目次 (2年次)

時間割 (前期・後期)

2

教養基礎科目	頁
初年次科目	
ラーニングレテラシー
情報リテラシー
初年次IPE演習
人間の探求	
人間科学概論
心理学
生命倫理学
医療人類学
社会の探求	
社会学概論
情報と社会
法律と社会
教育と社会
自然の探求	
データサイエンス
災害と共に生きる
ライフサイエンス生物学
バイオメカニクス
言語の探求	
基礎英語
コミュニケーション論
コミュニケーション英語
異文化コミュニケーション (中国語)
保健体育	
スポーツ実践

専門基礎分野	頁
解剖学 I
解剖学 II
骨学筋学 I
骨学筋学 II
体表解剖学 4
組織学 6
生理学 I
生理学 II
生理学演習 I
生理学演習 II
応用解剖生理学
身体運動学 I
身体運動学 II
運動生理学 8
人間発達学
脳科学概論 10
医学英語 12
病理学
リハビリテーション医学
内科学 14
神経内科学 16
整形外科学 19
精神医学 21
小児科学 23
臨床心理学 25
臨床栄養学
臨床薬理学
救急救命処置演習
リハビリテーション概論
健康科学概論 27
社会福祉学概論 30
災害リハビリテーション
国際リハビリテーション学
福祉住環境論

専門分野 (理学療法学専攻)	頁
基礎 理学療法学	
理学療法学概論
運動分析学
理学療法管理学
理学療法教育学
理学療法 評価学	
理学療法評価学
理学療法評価学実習
形態評価学実習
筋機能評価学実習
神経機能評価学実習
生理機能評価学実習
理学療法 治療学	
運動療法学
運動療法学実習
物理療法学
物理療法学実習
日常生活活動学
日常生活活動学実習
装具学
義肢学
神経理学療法学 I
神経理学療法学 II
神経理学療法学実習
運動器理学療法学 I
運動器理学療法学 II
運動器理学療法学実習
スポーツ理学療法学
小児理学療法学
呼吸器理学療法学
循環器理学療法学
代謝理学療法学
地域 理学療法	
地域リハビリテーション学
地域理学療法学
多職種連携教育

専門分野 (作業療法学専攻)	頁
基礎 作業療法学	
作業療法学概論
基礎作業学
基礎作業学実習 34
作業分析学 37
作業療法管理学
作業療法教育学
作業療法 評価学	
作業療法評価学
作業療法評価学実習 39
身体機能評価学実習
精神機能評価学実習 42
神経機能評価学実習 45
発達機能評価学実習 48
作業療法 治療学	
身体機能作業療法学 I 51
身体機能作業療法学 II 54
身体機能作業療法学実習
高次脳機能作業療法学 57
精神機能作業療法学 I 60
精神機能作業療法学 II 63
精神機能作業療法学実習
運動器作業療法学
高齢期作業療法学
発達過程作業療法学
発達過程作業療法学実習
内部機能作業療法学
日常生活活動学 66
日常生活活動学実習
義肢装具学
生活行為向上マネジメント演習 69
職業関連活動学
地域 作業療法	
地域リハビリテーション学 71
地域作業療法学
多職種連携教育

専門分野 (両専攻)

頁

発展科目A	
筋骨格系リハビリテーション
認知のリハビリテーション
痛みのサイエンス
予防リハビリテーション
ニューロサイエンス
スポーツサイエンス
ヘルスプロモーション
がんリハビリテーション
発展科目B	
社会自立支援技法
児童発達支援技法
地域社会支援技法

総合科目 (理学療法学専攻)

頁

臨床実習	
臨床技能演習 I
臨床技能演習 II
早期臨床体験実習
理学療法臨床評価実習
理学療法臨床総合実習 I
理学療法臨床総合実習 II
理学療法地域実習
統合科目	
理学療法特論 I
理学療法特論 II
理学療法総合演習
卒業研究	
理学療法研究法
理学療法セミナー
卒業研究

総合科目 (作業療法学専攻)

頁

臨床実習	
臨床技能演習 I
臨床技能演習 II
早期臨床体験実習
作業療法臨床評価実習 74
作業療法臨床総合実習 I
作業療法臨床総合実習 II
作業療法地域実習
統合科目	
作業療法特論 I
作業療法特論 II
作業療法総合演習
卒業研究	
作業療法研究法
作業療法セミナー
卒業研究

健康科学部 リハビリテーション学科
理学療法専攻/作業療法専攻
2年次生 時間割

前 期

	専攻	月	火	水	木	金
1時限目 9:00 } 10:30	PT		運動療法学 竹林 102講義室	運動器理学療法学Ⅰ 奥田 102講義室講義室	健康科学概論 宮口 306中講義室	精神医学 藤田 306中講義室
	OT		作業分析学 畑田・萩原 202講義室			
2時限目 10:40 } 12:10	PT	神経機能評価学実習 榎・渡邊 102講義室・204治療評価実習室	神経理学療法学Ⅰ 榎 102講義室	日常生活活動学 井上 102講義室	健康科学概論 川村 306中講義室	筋機能評価学実習 宮本(祥)・岡部 205レクリエーション室
	OT	精神機能作業療法学Ⅰ 畑田 202講義室	身体機能作業療法学Ⅰ 片岡 202講義室	精神機能評価学実習 畑田・萩原 202講義室		神経機能評価学実習 片岡・箭野 202講義室
3時限目 13:20 } 14:50	PT	体表解剖学 岡部 102講義室・204治療評価実習室	運動生理学 宅間 306中講義室	整形外科学 宅間 306中講義室	医学英語 宮本(祥) 102講義室	物理療法学 菅原 102講義室
	OT	医学英語 宮本(祥) 202講義室			基礎作業学実習 萩原 作業実習室・202講義室	体表解剖学 岡部 202講義室・204治療評価実習室
4時限目 15:00 } 16:30	PT		(精神医学) (或 5/13 5/20)	内科学 (第2・3内科) 306中講義室	(精神医学) (赤松 4/10 4/17 5/1 5/8)	物理療法学 菅原 102講義室
	OT					
5時限目 16:40 } 18:10	PT					
	OT					

後 期

	専攻	月	火	水	木	金
1時限目 9:00 } 10:30	PT		神経内科学 大崎 他 306中講義室	運動器理学療法学Ⅱ 奥田 102講義室	運動分析学 榎・渡邊 102講義室	地域リハビリテーション学：竹林・滝本 または 物理療法学実習：菅原・岡部 102講義室・204治療評価実習室
	OT			生活行為向上マネジメント演習 桂・稲富	精神機能作業療法学Ⅱ 畑田 202講義室	地域リハビリテーション学 竹林・滝本 202講義室
2時限目 10:40 } 12:10	PT	組織学 大迫 306中講義室	神経内科学 大崎 他 306中講義室	神経理学療法学Ⅱ 川村 102講義室	装具学 川村・渡邊 102講義室	地域リハビリテーション学：竹林・滝本 または 物理療法学実習：菅原・岡部 102講義室・204治療評価実習室
	OT			発達機能評価学実習 石附 202講義室	高次脳機能作業療法学 稲富 202講義室	地域リハビリテーション学 竹林・滝本 202講義室
3時限目 13:20 } 14:50	PT	理学療法評価学実習 宮本(祥)・渡邊 102講義室・204治療評価実習室	小児科学 鳥崎 306中講義室	日常生活活動学実習 井上 102講義室	運動療法学実習 竹林・近藤 102講義室	臨床心理学 鹿間 306中講義室
	OT	作業療法評価学実習 萩原・稲富 202講義室			身体機能作業療法学Ⅱ 國友 202講義室	
4時限目 15:00 } 16:30	PT	理学療法評価学実習 宮本(祥)・渡邊 102講義室・204治療評価実習室			脳科学概論 繁樹 306中講義室	社会福祉学概論 稲垣 306中講義室
	OT	作業療法評価学実習 萩原・稲富 202講義室	日常生活活動学 桂 202講義室			
5時限目 16:40 } 18:10	PT					
	OT					

專門基礎科目

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	体表解剖学	演習	1	15	2	前期
担当教員							
科目責任者	岡部 孝生：修士（教育学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授業概要							
解剖学Ⅰ・Ⅱなどで学修したことを基盤とし、人体の構造に関する知識の理解を深めるものである。理学療法士・作業療法士は対象者に対して非侵襲的に（皮膚の上から）評価・治療する場合も多い。そのため皮膚の上から各組織を触察できる能力が不可欠である。本講義では理学療法士・作業療法士として必要な骨・筋・神経・動脈などの触察の必要性和、基本的な触察技術を身につけることを目的としている。							
学習目標							
1. 体表解剖学の必要性を知る。 2. 基本的な触察技術を身につける。 3. 体表解剖学を通して、身体構造の3次元的イメージを身につける。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	骨触察の概論 触察の目的、基本手技について、代表的骨指標（ランドマーク）の触察 事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。						岡部 孝生
2	骨触察1 肩甲骨周辺の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。 事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。						岡部 孝生
3	筋触察1 肩甲帯筋群の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。 筋の起始・停止、作用も確認する。 事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。						岡部 孝生
4	骨触察2 上肢の骨の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。 事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。						岡部 孝生

5	<p>筋触察2</p> <p>上肢の筋の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。</p> <p>筋の起始・停止、作用も確認する。</p> <p>事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。</p>	岡部 孝生
6	<p>骨触察3</p> <p>下肢の骨の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。</p> <p>事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。</p>	岡部 孝生
7	<p>筋触察3</p> <p>下肢の筋の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。</p> <p>筋の起始・停止、作用も確認する。</p> <p>事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。</p>	岡部 孝生
8	<p>神経・動脈の触察</p> <p>上下肢の神経・筋の触察：触察をするために皮膚に投影図を描く。</p> <p>事前学習（2時間）：1年次の解剖学Ⅰ、骨学筋学Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習し、触察の練習を繰り返し行うこと。</p>	岡部 孝生
教科書	<p>1. PT・OTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学 坂井建雄 町田志樹 羊土社 2018</p> <p>2. プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版 坂井建雄 医学書院 2019</p>	
参考図書	<p>1. 骨格筋の形と触察法 第2版 河上敬介、磯貝香(著) 大峰閣 2013</p>	
成績評価	<p>定期末試験50%、実技試験50%、合計100%で評価する。</p>	
オフィスアワー	<p>火曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。</p> <p>また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。</p>	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門基礎	組織学	演習	1	15	2	後期
担当教員							
科目責任者	大迫 洋治：博士(獣医学)＜非常勤講師＞ 高知大学 医学部解剖学講座 准教授					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
<p>組織学は、顕微鏡による詳細な観察を通して、生体の正常構造をミクロレベルで理解する学問である。組織学の豊富な知識は、疾患を学ぶ上でも診断の際にも非常に強力な武器となる。本科目では、4つの基本組織（上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織）を中心に、その微細構造を理解し、身体を構成する要素をしっかりとイメージし、構造が正常機能の発現にどのように関わっているのか、疾患の根底にどのような形態学的異常があるのかを知ることを目的とする。また、実際に光学顕微鏡でスライド標本を観察することで、基本的な検鏡法も習得する。受講を通して、我々のからだは、ミクロレベルにおいても実に精緻につくられていることを実感すると同時に形態学を持つ意味を認識してほしい。</p>							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の顕微鏡像について説明できる 2. 上皮組織を形態的に分類できる 3. 骨組織と軟骨組織の違いについて説明できる 4. 骨格筋、心筋、平滑筋の各組織像の特徴を説明できる 5. 神経細胞と神経線維の形態的特徴について説明できる 6. 大脳・小脳・脊髄の各組織像の特徴について説明できる 7. 光学顕微鏡を用いて標本観察ができる 							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	<p>組織学研究法 代表的な染色法とその染色像の特徴について理解する。 顕微鏡の種類と各特徴について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。</p>						大迫 洋治
2	<p>細胞の構造 動物細胞の基本構造について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。</p>						大迫 洋治
3	<p>上皮組織の形態による分類 上皮組織を形態により分類し、典型的な存在部位と機能について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。</p>						大迫 洋治
4	<p>結合組織の種類、軟骨・骨組織、骨発生 結合組織の一般的構造と機能について理解する。軟骨組織と骨組織の違いについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。</p>						大迫 洋治

5	筋組織（骨格筋・心筋・平滑筋） 骨格筋、心筋、平滑筋の構造上の特徴を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
6	神経組織（ニューロン、グリア、無髄・有髄神経線維） ニューロンの形態の特徴について理解する。ニューロンとグリアの違いについて理解する。 無髄神経線維と有髄神経線維の違いについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
7	神経組織（大脳・小脳・脊髄） 灰白質と白質の違いについて理解する。大脳・小脳皮質の層構造について理解する。 脊髄前角の運動ニューロンの形態について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマに関連する解剖学を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
8	光学顕微鏡像の観察 実際の光学顕微鏡像を観察して、各構造物を同定する。 事前学習（2時間）：組織学の講義内容を総復習しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
教科書	新組織学（Qシリーズ）第7版 野上晴雄他 日本医事新報社	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	事後学習課題32%，最終レポート課題68%で評価します。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	運動生理学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	宅間 豊：博士(保健学) 理学療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
運動生理学は「運動によって身体にどのような変化が生ずるのか、その現象と仕組みを研究する学問」と言われている。一方、Physiotherapyの「Physio」は生理学との関係を表す接頭語であり、Physiotherapyは運動等の物理的刺激的の適用により生体の生理的反応を期待する治療と言われている。よって、運動生理学はリハビリテーションにおいて基盤となる重要な学問の一つである。そこで、この授業では運動に関係する身体の各器管系とそれらの運動時の反応を中心に学習する。							
学習目標							
1. 運動に関与する骨格筋系（筋線維の種類・特徴、エネルギー供給）を説明できる。 2. 運動に関与する神経系（役割・収縮様式と筋力）を説明できる。 3. 運動に関与する呼吸・循環・代謝系のメカニズムを説明できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	第1章 筋収縮とエネルギー供給系 1 骨格筋線維内の構造と機能 事前学習（2時間）：骨格筋線維の構造と機能を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：骨格筋線維内の環境・興奮収縮連関・筋滑走説を復習すること。						宅間 豊
2	第1章 筋収縮とエネルギー供給系 2 ATP再合成のためのエネルギー産生供給系 事前学習（2時間）：3つのエネルギー供給系を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：運動強度とエネルギー供給系との関係を復習すること。						宅間 豊
3	第2章 筋線維の種類とその特徴 1 骨格筋線維の分類とそれぞれの特性 事前学習（2時間）：骨格筋線維の分類を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：各筋線維の収縮および代謝の特性を復習すること。						宅間 豊
4	第2章筋線維の種類とその特徴 2 身体トレーニングによる筋線維組成の変化 事前学習（2時間）：筋力増強運動と筋持久力運動の処方原則を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：身体トレーニングによる筋線維組成の変化を復習すること。						宅間 豊
5	第3章 神経系の役割 1 神経入力による α 運動ニューロン興奮度の調整 事前学習（2時間）：錐体路系・錐体外路系・固有受容器を復習しておくこと。 事後学習（2時間）： α 運動ニューロンに対する遠心性入力と求心性入力を復習すること。						宅間 豊

6	第3章 神経系の役割2 漸増負荷運動によるサイズの原理 事前学習(2時間)：全か無かの法則を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：ランプ負荷で発動するサイズの原理を復習すること。	宅間 豊
7	第4章 筋の収縮様式と筋力1 筋収縮の種類と特性 事前学習(2時間)：筋収縮の種類を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：長さ張力関係、速度張力関係を復習すること。	宅間 豊
8	第4章 筋の収縮様式と筋力2 筋力増強運動による最大筋力増加のメカニズム 事前学習(2時間)：筋力増強運動を復習しておくこと。 事前学習(2時間)：筋力増強メカニズムに関係する短期・長期適応を復習すること。	宅間 豊
9	中間試験 試験範囲は第1章から第4章までとする。 事前学習(2時間)：試験対策を行うこと。 事後学習(2時間)：解答に自信のない箇所を確認すること。	宅間 豊
10	運動と循環1 血液循環経路、心拍数と冠血流量との関係、刺激伝導系と心電図 事前学習(2時間)：体循環と肺循環、心臓栄養血管、刺激伝導系を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：心周期と冠血流量との関係を復習すること。	宅間 豊
11	運動と循環2 運動に伴う心拍数と1回拍出量の変化、目標心拍数・生理的コスト指数・2重積の算出 事前学習(2時間)：心周期を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：目標心拍数・生理的コスト指数・2重積の算出法を復習すること。	宅間 豊
12	運動と循環3 全身持久力トレーニングの心臓血管系におよぶ影響 事前学習(2時間)：全持久力トレーニングの処方を復習しておくこと。 事前学習(2時間)：有酸素運動が心臓血管系と運動筋に及ぼす効果を復習すること。	宅間 豊
13	運動と呼吸1 呼吸と酸塩基平衡 事前学習(2時間)：酸塩基平衡を復習しておくこと。 事前学習(2時間)：呼吸性アシドーシス・アルカローシスを復習すること。	宅間 豊
14	運動と呼吸2 肺呼吸と組織呼吸の仕組み 事前学習(2時間)：血液による酸素と二酸化炭素の運搬を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：ヘモグロビン酸素解離曲線を復習すること。	宅間 豊
15	運動と呼吸3 酸素摂取量の規定因子 事前学習(2時間)：動静脈酸素較差を復習しておくこと。 事後学習(2時間)：代謝当量(MET)を復習すること。	宅間 豊
教科書	1. 入門運動生理学 勝田茂(編) 杏林書院 2. 配付プリント	
参考図書	1. 図説・運動の仕組みと応用 中野昭一(編) 医歯薬出版 2. 図説・運動生化学入門 伊藤郎(編著) 医歯薬出版	
成績評価	中間試験(第1~7回の範囲)と学期末試験(第8~15回の範囲)の2回の試験を実施します。 成績は中間50%、学期末50%で評価をします。	
オフィスアワー	火曜日5限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	脳科学概論	講義	2	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	繁柁 博昭：博士(心理学)＜非常勤講師＞ 高知工科大学 情報学群 教授 竹田 昂典：博士(医学)＜非常勤講師＞ 高知工科大学 総合研究所 脳コミュニケーション研究センター 助教 門田 宏：博士(学術)＜非常勤講師＞ 高知工科大学 情報学群 准教授					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
<p>脳科学に関連した知見はマスコミにもよく取り上げられ、タイトルに脳の付いた書籍も多数平積みで売られている。しかし、テレビや本などでよく聞かれる話には拡大解釈された俗説も少なくない。本講義では脳のはたらきを正しく理解することを目指し、脳や神経細胞の構造、機能の基本的特性を学ぶ。また、知覚、認知、運動など、私たちの生活に関わる脳の各機能の処理過程についても学ぶ。さらに、脳・機械インタフェースなど、脳に関する最新の研究トピックスも適宜紹介する。</p>							
学習目標							
1. 脳や神経細胞の構造と機能の基本的特性を理解し、脳についての正しい知識を身につける。 2. 脳活動の測定方法について理解する。 3. 知覚、認知、運動の脳内処理過程について理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	神経細胞と神経ネットワーク 脳・神経系の構成単位であるニューロンのしくみと神経信号の伝達の機序について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスで学習内容を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						繁柁 博昭
2	脳の構造と機能 脳の解剖学的な構造と、脳の各領域の機能について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。						繁柁 博昭
3	脳活動計測法 神経細胞の活動を直接測定する手法、および脳活動を非侵襲的に測定する手法を学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。						繁柁 博昭
4	視覚1：初期視覚の処理過程 網膜から脳に至る初期視覚の情報処理について概説し、視覚系の神経細胞の特性を学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。						繁柁 博昭
5	視覚2：物体認知と高次視覚の処理過程 視覚系の比較的高次な処理、及び脳の損傷によって生じる高次の機能障害を学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。						繁柁 博昭

6	注意と意識 注意の特性について、及び意識とは何かを明らかにしようとする脳科学の研究を学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
7	聴覚,嗅覚,味覚 外界の情報を得るための視覚以外の感覚である、聴覚、嗅覚、味覚のしくみを学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
8	体性感覚,平衡覚 身体に関わる感覚として、体性感覚、平衡覚について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
9	学習と記憶 脳と機械を直接結ぶブレイン・マシン・インタフェース（BMI）研究について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
10	言語,情動,社会的認知 記憶および言語に関わる脳の機能について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
11	脳－機械インタフェース 記憶と睡眠の関係について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
12	運動1：運動の制御 反射や歩行について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
13	運動2：運動の学習 随意運動に関わる脳の機能について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
14	脳科学とリハビリテーション 運動の学習パラダイムについて学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
15	まとめ 運動記憶や転移について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスの内容を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事前学習（2時間）：配布資料・参考書・ノートなどを参考に復習すること。	繁栞 博昭
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	1. イラストレクチャー認知神経科学 村上郁也編 オーム社 2. リハビリテーションのための脳・神経科学入門 森岡 周著 協同医書出版社 3. リハビリテーションのための認知神経科学入門 森岡 周著 協同医書出版社	
成績評価	定期試験80%、授業中の課題（20%）を総合して認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	医学英語	講義	1	15	2	前期
担当教員							
科目責任者	宮本 祥子：修士（学術）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
<p>リハビリテーション医学分野で頻出する専門英語を日本語、英語両面から表現し、解説できることが第一の目標である。また、英語の学習を通して障害や疾患についての概要や病態生理の知識を整理する。授業の後半には、医学・保健に関する時事的ニュース（研究成果の紹介）の英文テキストや英論文を講読する。講読の際には、担当教員がテキスト中に出現する語彙をJACET 8000やAcademic Word List（Coxhead 2000）、理学療法ESP語彙表（宮本 2011）と照合し、種類分けを行い提示する。「学術語彙」「専門語彙」に分類されるものについては、語彙の修得（日本語訳ができる）を目標として学修する。</p>							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーション医学の基礎的な専門英語を単語レベルで日本語、英語両面から表現できる。 2. リハビリテーション医学分野で対象となる障害や疾患についての学術用語を英語で表現し、意味を解説できる。 3. 英文テキスト・英論文の内容とテキストに出現する専門語彙が理解できる。 4. 英語論文の構成を理解する。 							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	<p>運動学関連の専門語彙 身体運動・関節運動の表現 事前学習（2時間）：日本語で構わないので、関節運動の表現の復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の練習問題に取り組むこと。</p>						宮本 祥子
2	<p>疾患関連の専門語彙 各種疾患の英語名を学ぶ。また、疾患の説明が出来るようにする。 事前学習（2時間）：復習テスト（小テスト）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：講義内で出てきた疾患について再度復習しておくこと。</p>						宮本 祥子
3	<p>筋肉名に関する語彙 上肢・下肢・体幹の筋肉について、英語名を学ぶとともに、筋の働きの確認を行う。 事前学習（2時間）：復習テスト（小テスト）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の練習問題に取り組むこと。</p>						宮本 祥子
4	<p>医学用語 医学用語で頻出の接頭語・接尾語の整理を行う。また、方向を表す語の整理を行う。 事前学習（2時間）：復習テスト（小テスト）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の練習問題に取り組むこと。</p>						宮本 祥子
5	<p>医療に関するニュースを読む（医学研究の成果に関するニュース）（1） 医療ニュースの紹介、語彙の確認、cloze test 事前学習（2時間）：復習テスト（小テスト）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料に目を通す。特に新出単語はよく復習をしておくこと。</p>						宮本 祥子

6	医療に関するニュースを読む（医学研究の成果に関するニュース）（2） 医療ニュースの内容を理解する。最初の1/3の内容を講読する。 事前学習（2時間）：単語の確認テストを行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の練習問題に取り組むこと。	宮本 祥子
7	医療に関するニュースを読む（医学研究の成果に関するニュース）（3） 医療ニュースの内容を理解する。ニュースの終盤1/3の内容を講読する。 事前学習（2時間）：復習テスト（cloze test）を行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：ニュースの全体を把握する資料を配布する。練習問題を解くこと。	宮本 祥子
8	英語論文の種類と構成 英語論文の種類（原著・症例報告など）と構成（IMRAD形式）を知る。 事前学習（2時間）：英語ニュースの復習テストを行うので復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：英論文の種類と構成を確認しておくこと。	宮本 祥子
教科書	教員が独自に授業資料を作成し配布します。	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	学期末試験80%、復習テスト20%、合計100%で評価する。	
オフィスアワー	月曜日 5時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	内科学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	山根 真由香：医師 高知大学 医学部 呼吸器・アレルギー内科学 助教					実務経験のある 教員による科目	
	荻野 慶隆：医師 高知大学 医学部 呼吸器・アレルギー内科学 助教						
	水田 順也：医師 高知大学 医学部 呼吸器・アレルギー内科学 特任助教						
	小島 研介：医師 高知大学 医学部 血液内科学 教授						
	船越 生吾：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 助教						
	田口 崇文：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 講師						
	刑部 有紀：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 助教						
	猪谷 哲司：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 特任助教						
	平野 世紀：医師 高知大学 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 助教						
	岩崎 信二：博士(医学) 医師 土佐田村病院副院長 消化器内科						
授業概要							
リハビリテーションの対象は、運動器および神経系の障害から呼吸循環器系、代謝系、泌尿器系などの内部障害にまで急速に拡大している。このようなリハビリテーション医療の拡大を鑑みて、内科系疾患の病態、診断、治療を講義しセラピストの必要な知識を教授する。							
学習目標							
1. 基本的な内科疾患を理解できる。 2. 内科の基本的な診断と治療を理解できる。 3. 内科疾患に対する治療を理解できる。 4. 内科疾患を理解するための解剖・生理学を理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容					担当教員	
1	総論 内科学とは、病気の原因・症状・徴候・診断・治療 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。					山根 真由香	
2	呼吸器1 解剖・生理、呼吸器疾患の主要症状・身体所見・検査所見 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。					荻野 慶隆	
3	呼吸器2 各論：閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患、感染性肺疾患など 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。					水田 順也	
4	血液1 解剖・生理・生化学、血液疾患のの主要症状・身体所見・検査所見 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。					小島 研介	

5	血液2 各論：貧血、多血症、白血病、悪性リンパ腫など 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	小島 研介
6	内分泌全般 内分泌総論、各論：下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎皮質疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	田口 崇文
7	腎・水電解質1 腎不全・水電解質・酸・塩基 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	刑部 有紀
8	代謝1 代謝総論、各論：糖尿病 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	船越 生吾
9	腎・水電解質2 腎基礎・一次性・二次性 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	猪谷 哲司
10	代謝2 脂質異常症・その他 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	平野 世紀
11	消化管 総論、各論：食道、胃、十二指腸、小腸、大腸疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
12	肝臓 肝臓の解剖・生理、肝疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
13	胆 膵 胆嚢、膵臓の解剖生理、各論：胆石、急性膵炎、慢性膵炎、膵癌など 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
14	免 疫 免疫の基礎、各論：アレルギー疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
15	まとめ 内科学のまとめ 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	岩崎 信二
教科書	1. ナースの内科学 改訂10版 奈良 信雄（編） 中外医学社	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験成績（100％）により認定する。	

オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。
留意事項	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	神経内科学	講義	2	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	森田ゆかり：医師 高知大学医学部脳神経内科学 助教 大崎 康史：医師 高知大学医学部脳神経内科学 講師 橋本 侑：医師 高知大学医学部脳神経内科学 特任助教 田辺 裕久：医師 朝倉病院 理事長 山崎 直仁：医師 高知大学医学部老年病・循環器内科学 准教授 馬場 裕一：医師 高知大学医学部老年病・循環器内科学 助教 北岡 裕章：医師 高知大学医学部老年病・循環器内科学 教授					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
神経学は一般に難解な学問という印象がある。しかし、解剖学と生理学を正しく理解すれば、知識の整理は極めて論理的に行うことができる。本講義では、まず神経系の解剖と生理を学びながら神経疾患の性質診断と部位診断という基本的アプローチを身につける。その後、脳血管障害、変性疾患、感染性疾患などの各論の治療法・予後についての理解を深める。高齢化社会である我が国において、神経内科領域の重要性はますます増えており、社会に出た後にも有用であるように図られている。							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経系の解剖を理解し、神経疾患診断に到るプロセスを理解する。 2. 神経学的所見の取り方の基礎、各種検査法を理解する。 3. 神経疾患の主要症状の発生機序、症状内容、症状をきたす疾患について理解する。 4. 各疾患についての病因病理、症状と経路、検査、診断、治療と予後について理解する。 							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	神経内科学総論 神経系の解剖生理 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						森田ゆかり
2	臨床神経解剖学・画像検査 CT, MRIなど 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						大崎 康史
3	神経生理学・検査 針筋電図、神経伝導検査 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						森田ゆかり
4	脳血管障害・総論 臨床症状、経過、検査所見 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						大崎 康史
5	脳血管障害・各論 脳血管障害の治療 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						大崎 康史

6	変性疾患 筋萎縮性側索硬化症 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	橋本 侑
7	変性疾患 パーキンソン病・類縁疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	森田ゆかり
8	変性疾患 小脳変性症・痙性対麻痺 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	橋本 侑
9	認知症 認知機能検査、症状 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	田辺 裕久
10	中毒・代謝性疾患 ウイルソン病、アミロイドーシス 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	大崎 康史
11	神経疾患 MS, NMO, ADEM 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	大崎 康史
12	神経筋接合部疾患 重症筋無力症 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	大崎 康史
13	循環器疾患 心電図、不整脈 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	山崎 直仁
14	細菌・ウイルス・真菌感染症 髄膜炎、脳炎 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	大崎 康史
15	循環器疾患 高血圧 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	馬場 裕一
16	神経筋疾患 筋肉疾患（筋ジストロフィー） 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	森田ゆかり
17	循環器疾患 虚血性心疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	北岡 裕章

18	神経疾患 末梢神経障害 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	森田ゆかり
19	弁膜症・心筋症 循環器疾患 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	北岡 裕章
教科書	1. ナースの内科学 改訂10版 奈良 信雄（編） 中外医学社	
参考図書	1. 神経内科ハンドブック 鑑別診断と治療 第5版 水野美邦 編集 医学書院 2. ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版 田崎義昭・斉藤佳雄・坂井文彦 南山堂 3. Merritt's Neurology 14th edition Elan D. Louis, Stephan A. Mayer, James M Noble. Wolters Kluwer	
成績評価	定期試験成績（100％）により認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門 基礎	整形外科学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	宅間 豊：博士(保健学) 理学療法士 土佐リハビリテーションカレッジ 池内 昌彦：博士(医学) 医師 高知大学医学部 整形外科学教室					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
<p>整形外科学は、骨・関節・靭帯・腱・筋肉といった運動に関与する器官（motor organ）の疾患や外傷を扱う医学であり、変形性関節症や骨折がその代表である。リハビリテーション医療における対象者は、運動器に機能構造障害を有している場合が多く、それが一因となり活動制限や参加制約に陥っている。セラピストがこのような対象者の病状を理解し、障害像を把握した上で理学療法や作業療法を適切に展開するためには整形外科学の知識は不可欠となる。よって、リハビリテーション医療に直接携わる理学療法士と作業療法士に必要な整形外科学を修得するための講義を行う。また、講義の最後には、整形外科手術の実際についての講義を行う。</p>							
学 習 目 標							
1. 基本的な整形外科疾患を理解できる。 2. 整形外科の基本的な診断法と治療法を理解できる。 3. 整形外科手術について理解できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	関節リウマチ 1 自己免疫疾患の意味、関節リウマチの病態、関節症候、関節外症候 事前学習（2時間）：関節構成体を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：関節リウマチのの病理病態を復習すること。						宅間 豊
2	関節リウマチ 2 関節リウマチの診断と治療 事前学習（2時間）：関節リウマチの病理病態を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：関節リウマチの診断と治療を復習すること。						宅間 豊
3	変形性関節症 1 変形性関節症の総論 事前学習（2時間）：関節の構造を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：変形性関節症の概要を復習すること。						宅間 豊
4	変形性関節症 2 変形性股関節症と変形性膝関節症の病態・画像診断・手術療法 事前学習（2時間）：変形性関節症総論を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：変形性股関節症・膝関節症の概要を復習すること。						宅間 豊
5	骨粗鬆症 骨粗鬆症の病因・病理・診断・治療 事前学習（2時間）：骨の構造と代謝を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：骨粗鬆症の概要と治療を復習すること。						宅間 豊

6	前半部分まとめ 関節リウマチ・変形性関節症・骨粗鬆症の総括 事前学習（2時間）：関節リウマチ・変形性関節症・骨粗鬆症を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：解答に自信のない箇所を確認すること。	宅間 豊
7	頸椎・腰椎疾患1 頸椎椎間板ヘルニア・頸椎症・後縦靭帯骨化症の病態と治療 事前学習（2時間）：頸椎と頸髄および頸髄神経の構造と機能を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：頸椎疾患の病態と治療を復習すること。	宅間 豊
8	頸椎・腰椎疾患2 腰椎椎間板ヘルニアの病態と治療 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	宅間 豊
9	骨折1 骨折の定義・分類・症状・合併症 事前学習（2時間）：骨の構造を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：骨折の分類・症状・合併症を復習すること。	宅間 豊
10	骨折2 骨折の治癒機転、骨癒合の日数と異常経過、骨折の治療 事前学習（2時間）：骨折の合併症等を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：骨癒合の機転や骨折治療の基本を復習すること。	宅間 豊
11	関節損傷1 腱板断裂、アキレス腱断裂、膝半月板損傷の病態と治療 事前学習（2時間）：腱板・アキレス腱・膝半月板の機能解剖を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：腱板断裂、アキレス腱断裂、膝半月板損傷の病態と治療を復習すること。	宅間 豊
12	関節損傷2 膝および足関節靭帯損傷の病態と治療 事前学習（2時間）：膝および足関節靭帯の機能解剖を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：膝および足関節靭帯損傷の病態と治療を復習すること。	宅間 豊
13	末梢神経損傷1 末梢神経損傷の争論（原因・分類・変性と再生・症状・手術療法） 事前学習（2時間）：末梢神経の構造を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：末梢神経損傷の原因、分類、変性と再生、症状、手術療法を復習すること。	宅間 豊
14	末梢神経損傷2 末梢神経損傷の各論（腕神経叢・橈骨神経・正中神経・尺骨神経・腓骨神経・脛骨神経の麻痺） 事前学習（2時間）：腕神経叢の構成を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：各末梢神経麻痺の各論を復習すること。	宅間 豊
15	整形外科的手術の実際 人工関節（股関節・膝関節）、脊椎の手術 事前学習（2時間）：教科書にて該当疾患に関して調べておくこと。 事後学習（2時間）：整形外科的手術の術式に対して文献なども含めて調べる	池内 昌彦
教科書	1. 標準整形外科学 石井清一／平澤泰介（監） 医学書院	
参考図書	1. リハビリテーション整形外科学 大谷清（著） 医学書院 2. Visual NAVI! 整形外科学 岡田恭司（著） メディカルビュー社	
成績評価	中間試験（50％）、定期試験成績（50％）により認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	精神医学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者						実務経験のある 教員による科目	
戎 正司：医師 近森病院 総合診療センター 藤田博一：医師 高知大学医学部附属医学教育創造センター 教授 玉元 徹：医師 南国病院 精神科 藤戸良子：医師 高知大学医学部附属病院 講師 赤松正規：医師 高知大学医学部附属病院 助教							
授業概要							
精神医学を取り巻く歴史的背景、精神保健福祉関連の事項について理解する。各精神疾患の特性について理解する。疾患独自の症状、診断の仕方、所見、経過、予後、治療、薬物療法を中心とした治療の視点を統合的に学ぶ。また、その理解を通してリハビリテーションに関わる治療の視点を学修する。							
学習目標							
1. 精神現象の様々な異常を理解し説明できる。 2. 各疾患を理解できる 3. 精神医学の歴史的背景を説明できる。 4. 精神保健福祉関連の法律について理解できる。 5. 代表的な精神障害について症状、診断の仕方、所見、経過、治療について理解できる。 6. 各精神疾患の特性を理解し、リハビリテーションの治療の視点を説明できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内 容						担当教員
1	総論 第1章：精神医学とは、第2章：脳科学と精神医学、第3章：精神機能とその異常 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						赤松 正規
2	精神医学的診察と診断 第4章：精神発達、第5章：精神医学的診察と診断、第6章：精神科治療学、 第7章：コンサルテーション・リエゾン精神医学 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						赤松 正規
3	精神医療と社会 第8章：精神医療と社会：精神保健、地域精神医療、災害精神医学 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						赤松 正規
4	児童精神疾患 神経症 第9章：発達障害その他の児童期の精神疾患、第13章：不安症・解離症・身体症状症 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						赤松 正規
5	統合失調症 第10章：統合失調症（概念、疫学、病態、症状、治療） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						戎 正司

6	うつ病 双極症 第11章：うつ病（疫学、診断、経過・予後、治療）第12章：双極性障害 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	戎 正司
7	強迫症 心的外傷及びストレス因関連症 接触症 第14章：強迫症、第15章：心的外傷およびストレス性障害、第16章：摂食障害 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤田 博一
8	睡眠・覚醒障害 第17章：睡眠・覚醒障害（不眠症、睡眠関連呼吸障害群、睡眠随伴症群） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤田 博一
9	物質関連障害および嗜癖性障害 第18章：物質関連障害および嗜癖性障害（薬物作用と依存形成、物質と精神疾患） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤田 博一
10	認知症総論 第19章：認知症（疫学、臨床所見、検査所見、治療） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	玉元 徹
11	認知症各論 第19章:認知症（アルツハイマー病、軽度認知症、前頭側頭型認知症、血管性認知症） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	玉元 徹
12	てんかん 第20章：てんかん（総論・各論、分類・検査・診断） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	玉元 徹
13	パーソナリティ症 第21章：パーソナリティ障害（概念、診断、病因・病態、予後・治療） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	玉元 徹
14	精神科で対応することのある他の疾患および状態 第22章：衝動制御症候群、性別違和、パラフィリア症群、性機能不全群） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤戸 良子
15	精神疾患の原因となりうる医学疾患・薬剤・化学物質 第23章：中枢性疾患、内分泌疾患、代謝障害による精神疾患） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	藤戸 良子
教科書	1. 標準精神医学／野村総一郎他／ 医学書院 第7版	
参考図書	1. 標準理学療法学・作業療法学 精神医学 医学書院	
成績評価	レポート課題（20％）、定期試験（80％）により評価し認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門 基礎	小児科学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	島崎 洋成：医学博士 医師 田野病院 小児科					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
出生前後から成長期における成長・発達と、その間にみられる主な疾患（感染症、先天異常、免疫・アレルギー疾患、消化器疾患、神経疾患、筋疾患、新生児・未熟児疾患、代謝異常、呼吸器疾患、循環器疾患、など）について、小児科学全般について網羅的にまとめて学習する。							
学 習 目 標							
1. 小児科の基本的な疾患を理解する。 2. 小児に特徴的な成長・発達について理解する。 3. 小児疾患に対する治療法を理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	総論 小児の成長・発達、保健（健診、予防接種、学校保健） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
2	感染症 症状、診断と治療、代表的感染症 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
3	先天奇形・染色体異常 先天異常と遺伝、遺伝と病気、染色体疾患、先天代謝異常 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
4	免疫・アレルギー疾患・膠原病 免疫システム、アレルギーの分類・診断・疾患、自己免疫疾患・膠原病各種 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
5	消化器疾患 消化器発生、機能的発達と症状、消化器疾患 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成
6	神経疾患 1 診断と検査、中枢神経疾患（急性疾患、先天性疾患、その他） 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						島崎 洋成

7	神経疾患（重症心身障害児etc）2 てんかん、脳性麻痺、脊髄性疾患、末梢神経障害 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
8	筋疾患・骨・関節疾患 筋疾患（筋ジストロフィーなど）、骨関節疾患（側弯症、ヘルテス病、変形など） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
9	血液疾患 赤血球系の異常、白血球系の異常、出血性・血栓性疾患 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
10	新生児・未熟児疾患 新生児の評価と問題、未熟児の神経学的所見、新生児・周産期異常症状 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
11	循環器疾患 症状と検査、発症頻度と原因、先天性心疾患、後天性心疾患 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
12	呼吸器疾患 症状と検査、治療と処置、呼吸器疾患 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
13	内分泌・先天代謝異常 各種内分泌疾患、糖代謝異常（糖尿病、低血糖、肥満） 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
14	腎・泌尿器疾患 検査、各種腎疾患、腎不全 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
15	まとめ 小児科学の臨床 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	島崎 洋成
教科書	1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野小児科学 編集 富田 豊 医学書院	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験成績（100%）により認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	臨床心理学	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	鹿間 淳史：修士（児童学） 臨床心理士 高知ハーモニーホスピタル					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
臨床心理学は、人間の心理的課題の分析、支援、予防にかかわり、個人がよりよい適応を目指し、より力を発揮できるよう寄り添い、支える事を目的とした実践的学問である。研究を中心活動とする心理学の他の分野と比べ、実践活動の中からまとめられた考えも重視し、実践、研究、専門活動のそれぞれを統合しながら発展しようとしている新しい分野でもある。授業では、心理的課題をいかにアセスメントし、仮説を導き、介入していくかについて、臨床心理学の知見と実践を並走させながら紹介する。							
学習目標							
1. 主要な心理検査法、心理療法について理解する。 2. 仮説を導くための理論などを理解する。 3. 心理的課題を抱え生きる困難と力を理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	第1章 リハビリテーションのための臨床心理学 事前学習（1時間）：臨床心理学と自身の専門と、どのように関連するのか考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						鹿間 淳史
2	第2章 心理アセスメントの方法と倫理 事前学習（1時間）：心をアセスメントするとはどういうことなのか考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						鹿間 淳史
3	第3章 心理検査 事前学習（1時間）：各心理検査について、簡単に調べておくこと。 事後学習（2時間）：復習および実際の検査用具に触れること。						鹿間 淳史
4	第4章 無意識の欲望を探る精神分析 1 事前学習（1時間）：無意識を探求する方法について考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						鹿間 淳史
5	第4章 無意識の欲望を探る精神分析 2 事前学習（1時間）：無意識と精神疾患との関係について考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						鹿間 淳史

6	第5章 行動や認知の変容・制御を目指す 1 事前学習（1時間）：精神分析と認知行動療法の違いについて考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
7	第5章 行動や認知の変容・制御を目指す 2 事前学習（1時間）：様々な認知行動療法の技法について事前に考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
8	第6章 人間の実現傾向を重視する 事前学習（1時間）：精神でも行動でもない第三のものは何か考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
9	第7章 さまざまな心理療法的アプローチ 1 事前学習（1時間）：第6章までに知ったアプローチ以外の方法について考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
10	第7章 さまざまな心理療法的アプローチ 2 事前学習（1時間）：なぜ様々なアプローチが生まれるのか考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
11	第8章 発達と心の問題 事前学習（1時間）：臨床において発達について考えることの重要性を考えておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
12	第9章 認知機能のアセスメントと支援 1 事前学習（1時間）：認知機能とは何か、復習しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
13	第9章 認知機能のアセスメントと支援 2 事前学習（1時間）：神経心理学的検査について事前の調べておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
14	第10章 臨床心理学の成り立ちと今後の展望 1 事前学習（1時間）：これまでの復習（特に心理検査）。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
15	第10章 臨床心理学の成り立ちと今後の展望 2 事前学習（1時間）：これまでの復習（特に心理療法）。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。	鹿間 淳史
教科書	1. リハビリテーションのための臨床心理学 牧瀬 英幹・著 南江堂 2021	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	講義中の課題（20%）、定期試験（80%）により評価し認定する	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	健康科学概論	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者		川村 博文：博士(医学) 理学療法士 宮口 英樹：博士(保健学) 作業療法士				実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
健康の概念について理解し、健康を科学することの意義を学習します。健康状況の現状や健康に影響する要因の知識を修得し、リハビリテーション専門職として多職種の連携や行政と協働して健康増進につなげ、健康長寿を目指し、地域住民が健康で健やかな生活ができるような活動が実践できるように学習する。							
学習目標							
1. 健康の概念について理解し、健康を科学することの意義を理解する。 2. 健康状況の現状や健康に影響する要因を理解する。 3. 健康に対するアプローチ方法を理解する。 4. 健康科学に関する研究や症例の展望に関して理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input checked="" type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input checked="" type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内 容						担当教員
1	健康科学とは 健康科学の意義と必要性について解説する。 事前学習(2時間)：シラバスを確認し、事前配布資料を確認しておくこと。 事後学習(2時間)：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、 問いについてまとめる。						川村 博文
2	データからみた健康 様々なデータを活用し健康について理解する。 事前学習(2時間)：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習(2時間)：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、 提示する問いについてまとめる。						川村 博文
3	健康と経済 経済格差と健康格差について解説する。 事前学習(2時間)：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習(2時間)：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、 提示する問いについてまとめる。						川村 博文
4	健康と社会 平均寿命と健康寿命について解説する。 事前学習(2時間)：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習(2時間)：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、 提示する問いについてまとめる。						川村 博文

5	<p>健康とライフスタイル</p> <p>ライフスタイルが健康に及ぼす影響について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
6	<p>健康と心</p> <p>ストレスとメンタルヘルスについて解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
7	<p>健康と運動</p> <p>健康づくりの支援や運動プログラムについて解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
8	<p>健康と環境</p> <p>感染症・環境汚染と健康との関係について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
9	<p>健康と職業</p> <p>働く人の健康や職種との関係性について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	川村 博文
10	<p>健康と予防</p> <p>認知症予防や介護予防について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹
11	<p>健康と社会</p> <p>地域社会と健康づくり事業、行政職員との連携について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹
12	<p>健康と学校保健</p> <p>子どもの体力と運動能力、学校教員との連携について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹
13	<p>多職種におけるヘルスプロモーション</p> <p>ヘルスプロモーションにおける多職種連携の重要性について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹
14	<p>健康科学における研究の紹介</p> <p>健康科学における研究の紹介をし、今後の研究の重要性について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p>	宮口 英樹

15	<p>未来の健康科学： 健康科学領域における将来の展望について解説する。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料やHPなどの情報を検索し、提示する問いについてまとめる。</p> <p>定期試験に向けて復習しておくこと。</p>	宮口 英樹
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験（80％）および提出課題（20％）により総合的に評価する。	
オフィスアワー	川村：月曜日 12時30分～13時、宮口：水曜日 5 限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門 基礎	社会福祉学概論	講義	2	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	稲垣 佳代：社会福祉学修士 高知県立大学助教 社会福祉学部					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
社会福祉の概念、法制、方法、動向などの基礎知識を習得する。さらに、具体の事例から、社会福祉の対象者が直面する「暮らしづらさ」とそれを支える社会福祉援助活動について考察することにより、実践科学としての社会福祉について理解を深める。講義を中心に展開する。							
学 習 目 標							
1. 社会福祉にかかわる基礎知識を習得する。 2. 社会福祉援助活動の基本的枠組みについて理解する。 3. 社会福祉実践における専門性と理学療法士、作業療法士が有する専門性の共通項と差異を認識し、臨床場面において社会福祉専門職と連携を図るために必要な視点を習得する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	総論 人びとの暮らしとそれを支える社会の仕組みについて学ぶ 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
2	社会福祉とはなにか I 社会福祉とは何か、社会福祉が実践で培ってきた理念について学ぶ 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
3	社会福祉とはなにか II 社会福祉の対象と機能について学ぶ 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
4	社会福祉の歴史 イギリスと日本の社会福祉の歴史を学ぶ 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
5	社会福祉とニード ニード概念の定義や類型、ニード概念とパターナリズムの問題を学ぶ 事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代
6	社会福祉にかかわる法律・制度・施策 I 日本における高齢者福祉・障害者福祉に係る法律・制度・施策を中心に学ぶ 事前学習（2時間）：解剖学、生理学の講義内容を復習しておくこと。 事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。						稲垣 佳代

7	<p>社会福祉にかかわる法律・制度・施策Ⅱ</p> <p>日本における高齢者福祉・障害者福祉に係る法律・制度・施策を中心に学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
8	<p>社会福祉にかかわる法律・制度・施策Ⅲ</p> <p>日本における高齢者福祉・障害者福祉に係る法律・制度・施策を中心に学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
9	<p>社会福祉に従事する人びと</p> <p>社会福祉士や精神保健福祉士が活躍する場や所属機関での役割を学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
10	<p>社会福祉援助活動の基本的枠組みⅠ</p> <p>社会福祉援助活動の目的、対象、方法などの基本的枠組みについて学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
11	<p>社会福祉援助活動の基本的枠組みⅡ</p> <p>社会福祉援助活動の目的、対象、方法などの基本的枠組みについて学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
12	<p>社会福祉援助活動の展開Ⅰ</p> <p>人びとの暮らしに生じる危機と社会福祉援助活動の具体的展開について学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
13	<p>社会福祉援助活動の展開Ⅱ</p> <p>人びとの暮らしに生じる危機と社会福祉援助活動の具体的展開について学ぶ</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
14	<p>社会福祉とリハビリテーションの関係</p> <p>専門性の共通項と差異、連携を図るために必要な視点を学ぶ。</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
15	<p>まとめ</p> <p>これまでの学びを総括する</p> <p>事前学習（2時間）：対象の章を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。</p> <p>事前学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考に復習すること。</p>	稲垣 佳代
教科書	1. リハビリテーションのための臨床心理学 牧瀬 英幹・著 南江堂 2021	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	講義中の課題（30%）、定期試験（70%）により評価し認定する	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

専門科目
(作業療法学専攻)

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	基礎作業学実習	実習	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者		萩原 賢二：修士（学術） 作業療法士 西邨 出：(株)陽和工房 房主				実務経験のある 教員による科目 ○	
授業概要							
<p>ひとが行う作業活動について、作業分析することによって作業の持つ意味、および治療的効果についての知識を深める。また、グループワークを通して、作業分析から導き出した種々の疾患に対する作業活動を実践し、効果的な関わり方についての理解と指導方法を習得する。さらに、より広い視点で作業活動を理解し、生活動作へ応用できる思考を育てる。</p>							
学習目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 限定的作業分析の実践を通して、作業活動の治療的効果を学習する。 2. 活動を段階付けてとらえ、認知機能、身体機能、精神機能の視点で分類できる。また、実施する際の作業環境への配慮、および指導の際のリスク管理についても理解し説明することができる。 3. 作業活動に用いる材料について、実際に使用し実感する。その上で対象者に合わせて治療効果を考慮した材料を揃えることができる。材料の資材や特性を知る必要性を理解できる。 4. 作業活動の立案～実践を通して、生活行為への応用、および指導方法について他者と意見交換できる。 5. 分析的な視点で陶芸を体験し、段階付けて治療に用いることができる。 							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
、							
回	内 容						担当教員
1	<p>作業分析の意義 作業が生きる条件、作業で伝える意義について解説します。 事前学習（30分）：シラバスの確認と基礎作業学の復習をしておくこと。 事後学習（30分）：グループワークが円滑にいくように交流すること。</p>						萩原 賢二
2	<p>疾患別にグループワーク① 作業活動の立案と限定的作業分析の実践についてグループワークを行う。 事前学習（30分）：グループワークの役割を決めておくこと。 事後学習（30分）：グループで内容をまとめること。</p>						萩原 賢二
3	<p>疾患別にグループワーク② 作業活動の立案と限定的作業分析の実践についてグループワークを行う。 事前学習（30分）：グループワークの役割を決めておくこと。 事後学習（30分）：グループで内容をまとめること。</p>						萩原 賢二
4	<p>疾患別にグループワーク③ 作業活動の立案と限定的作業分析の実践についてグループワークを行う。 事前学習（30分）：グループワークの役割を決めておくこと。 事後学習（30分）：グループで内容をまとめ、発表資料を作成すること。</p>						萩原 賢二

5	作業活動の実践発表① グループワークでの内容を発表し、ディスカッションを行う。 事前学習（30分）：グループ発表の練習をしておくこと。 事後学習（30分）：各グループで内容をまとめて提出すること。	萩原 賢二
6	作業活動の実践発表② グループワークでの内容を発表し、ディスカッションを行う。 事前学習（30分）：グループ発表の練習をしておくこと。 事後学習（30分）：各グループで内容をまとめて提出すること。	萩原 賢二
7	作業活動の実践発表③ グループワークでの内容を発表し、ディスカッションを行う。 事前学習（30分）：グループ発表の練習をしておくこと。 事後学習（30分）：各グループで内容をまとめて提出すること。	萩原 賢二
8	作業活動の実践発表④ グループワークでの内容を発表し、ディスカッション、総括を行う。 事前学習（30分）：グループ発表の練習をしておくこと。 事後学習（30分）：各グループで内容をまとめて提出すること。	萩原 賢二
9	作業活動の実践発表⑤ グループワークでの内容を発表し、ディスカッションを行う。 事前学習（30分）：グループ発表の練習をしておくこと。 事後学習（30分）：各グループで内容をまとめて提出すること。	萩原 賢二
10	陶芸① 陶芸を行うための手順の理解と作業分析をする。 事前学習（30分）：事前に配布する資料で陶芸の手順について確認しておくこと。 事後学習（30分）：陶芸を行うための手順を実践に向けて再確認しておく。	西邨 出
11	陶芸② 手びねり・電動ろくろの実践を行う。 事前学習（30分）：実践に向けて方法・手順を確認しておくこと。 事後学習（30分）：陶芸で実際経験したことをまとめておくこと。	西邨 出
12	陶芸③ 絵付け・釉薬工程の理解と実践を行う。 事前学習（30分）：実践に向けて方法・手順を確認しておくこと。 事後学習（30分）：陶芸で実際経験したことをまとめておくこと。	西邨 出
13	陶芸④ 絵付け・釉薬工程の理解と実践を行う。 事前学習（30分）：実践に向けて方法・手順を確認しておくこと。 事後学習（30分）：陶芸で実際経験したことをまとめておくこと。	西邨 出
14	陶芸と作業療法 陶芸を通じた作業のかかわりについて解説・ディスカッションを行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に熟読し、陶芸作業についてのディスカッショ 事後学習（30分）：ディスカッションについてまとめること。	西邨 出
15	まとめ 様々な作業活動と作業療法との関係性について総括する。 事前学習（30分）：配布資料を事前に熟読作業活動についてまとめておくこと。 事後学習（30分）：出来上がった陶芸についての課題レポートを提出すること。	西邨 出
教科書	1. ひとと作業・作業活動 2. 配布プリント	
参考図書	適宜紹介します。	

成績評価	レポート課題（60％）、グループ発表（40％）の内容を総合的に評価
オフィスアワー	金曜日 5 限目。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	
実務経験のある 教員による授業	萩原賢二 実務経験：平成15年4月～平成27年9月 芸西病院に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(学術)の学位を有しており、実習は、一般病院での身体領域・精神領域の多彩な臨床経験 および教育・研究経験に基づいて行う。 西邨 出 担当教員は、(株)陽和工房 房主であり、陶芸教室などを開催などの経験を通じて実践を通した実習を行 う。

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	作業分析学	講義	1	15	2	前期
担当教員							
科目責任者		畑田 早苗：博士（医学） 作業療法士				実務経験のある 教員による科目	
		萩原 賢二：修士（学術） 作業療法士				○	
授 業 概 要							
<p>作業活動がもたらす効果について理解し、専門用語を用いて説明できることが重要である。また、臨床場面で治療手段として用いるために必要な作業分析(包括的分析、限定的分析)について理解する。作業分析については、作業活動の実践を通して、チェックリストを用いた分析を経験し、作業を治療的手段として用いるために必要な知識を身につける。</p>							
学 習 目 標							
<ol style="list-style-type: none"> 1.作業やその周辺の言葉を正しく使用できる。 2.作業活動の段取りや準備が主体的に実施できる。 3.計画性をもって決められた時間内で達成できる。 4.仲間と協働し、助け合いながら取り組むことができる。 5.計画性をもって決められた時間内で達成できる。 6.作業の治療的応用について、その方法と内容を述べるができる。 7.作業遂行上の問題解決に向けて知識を統合する能力・技能を身につける。 8.作業活動の実践に必要な情報を収集・記録する能力・技能を身につける。 							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input checked="" type="checkbox"/> CP5 <input type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	<p>作業がアフォードするもの①</p> <p>作業と結果の特性、アフォーダンス理論について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：シラバスの確認と基礎作業学の復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料にて復習し、まとめておくこと。</p>						畑田 早苗
2	<p>作業がアフォードするもの②</p> <p>ひとが作業することの意味・意義について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語の意味などを調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料にて復習しておくこと。</p>						畑田 早苗
3	<p>作業分析①</p> <p>包括的作業分析について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語の意味などを調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料・参考資料にて包括的作業分析について復習しておくこと。</p>						萩原 賢二
4	<p>包括的作業分析チェックリストの作成</p> <p>芳香剤作りを用いた包括的作業分析チェックリストの作成を行う。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、芳香剤作りの作業手順を確認しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：作業分析のチェックリストを完成させること。</p>						萩原 賢二

5	<p>作業分析②</p> <p>限定的作業分析について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語の意味などを調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：配布資料・参考資料にて限定的作業分析について復習しておくこと。</p>	萩原 賢二
6	<p>実践作業体験</p> <p>絵手紙作成の実践体験を行う。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、絵手紙作成の作業手順を確認しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：作業体験したことをまとめて提出すること。</p>	萩原 賢二
7	<p>限定的作業分析チェックリストの作成</p> <p>絵手紙を用いた限定的作業分析チェックリストの作成を行う。</p> <p>事前学習（2時間）：作業手順を確認しておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：作業分析のチェックリストを完成させること。</p>	萩原 賢二
8	<p>チェックリストの発表</p> <p>作成したチェックリストの発表、ディスカッションを行う。</p> <p>事前学習（2時間）：グループでディスカッションし、各自発表準備をしておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：発表内容をまとめて提出すること。</p>	萩原 賢二
教科書	<p>1. ひとと作業・作業活動</p> <p>2. 配布プリント</p>	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	レポート課題（70%）、グループ発表（30%）の内容を総合的に評価	
オフィスアワー	<p>畑田：火曜日 5 限目、萩原：金曜日 5 限目。講義後も質問を受けつけます。</p> <p>また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。</p>	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	<p>畑田早苗 実務経験：平成3年5月～平成14年3月 近森病院第二分院（精神科）に作業療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、精神科病院での臨床経験および教育・精神機能作業療法関連の研究経験に基づいて行う。</p> <p>萩原賢二 実務経験：平成15年4月～平成27年9月 芸西病院に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(学術)の学位を有しており、講義は、一般病院での身体領域・精神領域の多彩な臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。</p>	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	作業療法評価学実習	実習	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	萩原 賢二：修士（学術）作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
	稲富 惇一：博士（医学）作業療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					○	
授業概要							
臨床場面を想定し、学内授業で習得した障害評価の知識や技術を統合し、疾患と障害との関係や障害と生活環境の関連等を学習することを目的とする。障害評価を総合的に理解するために、模擬症例やグループ学習を多く取り入れ、思考能力と実践力を養う。							
学習目標							
1. 各評価項目について、既修範囲を復習し、実践能力を高める 2. 疾患を想定し、検査・測定を実施できるようになる 3. 検査の意義を理解し、各障害に関する知識を統合する 4. 動作観察から問題点を想起できるようになる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	情報収集、カルテ情報の解釈 模擬症例を提示し、情報収集、カルテ情報の解釈をグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：シラバスを確認し、必要なキーワードを復習しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習すること。						萩原・稲富
2	視診・触診の評価、Vital sign、メジャーメント 模擬症例を提示し、情報収集、カルテ情報の解釈をグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：必要なキーワードを他の評価関連の講義より復習しておくこと。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習すること。						萩原・稲富
3	関節可動域検査の実践 模擬症例を提示し、情報収集、カルテ情報の解釈をグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：関節可動域検査の内容を復習しておくこと。 事後学習（30分）：実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。						萩原・稲富
4	筋力の評価：MMTの実践 模擬症例を提示し、情報収集、カルテ情報の解釈をグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：MMTの内容を復習しておくこと。 事後学習（30分）：実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。						萩原・稲富
5	神経系の評価・演習（表在・深部感覚神経、運動麻痺） 模擬症例を提示し、情報収集、カルテ情報の解釈をグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：神経機能評価学演習で行った内容を復習しておくこと。 事後学習（30分）：実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。						萩原・稲富

6	日常生活活動の評価 模擬症例を提示し、情報収集、カルテ情報の解釈をグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：日常生活動作学で行った内容を復習しておくこと。 事後学習（30分）：実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。	萩原・稲富
7	日常生活関連活動の評価 模擬症例を提示し、情報収集、カルテ情報の解釈をグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：日常生活動作学で行った内容を復習しておくこと。 事後学習（30分）：実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。	萩原・稲富
8	脳卒中片麻痺症例を想定した筋緊張・運動麻痺の評価 模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：神経機能評価学演習で行った内容を復習しておくこと。 事後学習（30分）：実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。	萩原・稲富
9	各疾患の動作観察・動作分析 模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：提示する疾患の内容を予習・復習しておくこと。 事後学習（30分）：動作を記述できるよう参考書籍などで学習すること。	萩原・稲富
10	精神疾患に対する評価① 模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：精神医学・精神機能評価学演習の内容を復習しておくこと。 事後学習（30分）：実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。	萩原・稲富
11	精神疾患に対する評価② 模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：精神医学・精神機能評価学演習の内容を復習しておくこと。 事後学習（30分）：実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。	萩原・稲富
12	疾患を考慮した評価項目の立案 評価項目の立案、手順についてグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、理学療法評価学の講義内容を復習し、 作業療法評価プロセスを確認しておくこと。 事後学習（30分）：評価項目の立案ができるよう参考書籍などで学習すること。	萩原・稲富
13	各評価結果からの統合と解釈① 中枢神経疾患の模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料の模擬症例を確認し、必要ような知識・技術を整理しておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画・参考文献を確認すること。 統合と解釈を記述できるよう参考書籍などで学習すること。	萩原・稲富
14	各評価結果からの統合と解釈② 運動器疾患の模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料の模擬症例を確認し、必要ような知識・技術を整理しておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画・参考文献を確認すること。 統合と解釈を記述できるよう参考書籍などで学習すること。	萩原・稲富
15	まとめ 作業療法評価の重要性を再認識し、臨床実習に向けた学習を行う。 事前学習（30分）：作業療法評価の総復習として必要ような知識・技術と臨床場面を整理しておくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画・参考文献を確認すること。 定期試験に向けて学習すること。	萩原・稲富

教科書	<p>1. 標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院</p> <p>2. PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版株式会社</p> <p>3. 新・徒手筋力検査法 第10版 Dale Avers、Marybeth Brown 協同医書出版</p>
参考図書	適宜紹介します。
成績評価	定期試験（50％）、口頭・実技試験（50％）により認定する。
オフィスアワー	<p>萩原：金曜日 5限目。講義後も質問を受けつけます。</p> <p>また、各担当教員の電子メールを利用し、事前予約を取ってください。</p>
留意事項	
実務経験のある 教員による授業	<p>萩原賢二 実務経験：平成15年4月～平成27年9月 芸西病院に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(学術)の学位を有しており、実習は、一般病院で身体領域・精神領域の多彩な臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。</p> <p>稲富惇一 実務経験：平成23年4月～平成29年3月 森ノ宮病院 に作業療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、実習は、一般病院での脳卒中に対する作業療法の臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。</p>

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	精神機能評価学実習	実習	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	畑田 早苗：博士（医学） 作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
	萩原 賢二：修士（学術） 作業療法士					○	
授 業 概 要							
対象者に影響を及ぼす関係性作り、コミュニケーションについて学修する。精神科作業療法に必要な情報収集、観察評価について学修する。また個人の特性を評価できる作業面接について作業遂行能力を評価できる力を身につける。評価から患者の対応課題を抽出し、プログラム立案ができる。神経認知、社会認知についても知識を深める。グループワークも取り入れながら、演習を行う。							
学 習 目 標							
1. 精神科作業療法の評価に必要なコミュニケーションについて理解し、自分自身の特性やコミュニケーションを振り返ることができる。 2. 情報収集の視点、観察・評価について理解できる。 3. 評価結果から統合と解釈について理解し、症例の問題点の抽出ができ治療目標、プログラム立案ができる。 4. MTDLPでまとめることができる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	精神科作業療法の概要 精神疾患について、障害の捉え方、必要なコミュニケーションについて 事前学習（30分）：シラバスを確認し、必要なキーワードを復習してください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習すること。						畑田・萩原
2	精神科分野における評価 作業療法評価における精神科分野の評価のポイント 事前学習（30分）：必要なキーワードを他の評価関連の講義より復習をしてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習してください。						畑田・萩原
3	対象者理解の視点 精神疾患の対象者を理解するためのポイント 事前学習（30分）：事前配布資料を熟読し、作業療法評価学の復習をしてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習してください。						畑田・萩原
4	作業療法における面接について 面接における情報収集のポイントと実践 事前学習（30分）：事前配布資料を熟読し、作業療法評価学の復習をしてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習してください。						畑田・萩原
5	作業療法における観察について 観察から得られる情報収集のポイントと実践 事前学習（30分）：事前配布資料を熟読し、作業療法評価学の復習をしてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習してください。						畑田・萩原

6	作業面接の観察・面接の視点 面接時の観察のポイントと面接時の注意点 事前学習（30分）：事前配布資料を熟読し、作業療法評価学の復習をしてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習してください。	畑田・萩原
7	精神科で使用する評価尺度の紹介 LASMI、PANSS、BACS評価について 事前学習（30分）：事前配布資料を熟読し、各評価尺度を確認してください。 事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。	畑田・萩原
8	評価実践演習 日本作業療法士協会アセスメントシートを用いての実習 事前学習（30分）：事前配布資料を熟読し、日本作業療法士協会アセスメントシートを確認してください。 事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。	畑田・萩原
9	神経認知と社会認知について 認知矯正療法NEAR・メタ認知トレーニングの紹介 認知矯正療法NEAR・メタ認知トレーニングの紹介と実習 事前学習（30分）：提示する疾患の内容を予習・復習しておくこと。 事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。	畑田・萩原
10	症例を通しての評価プロセスの理解（） 模擬症例を通して評価、評価の統合の実践 事前学習（30分）：精神医学・精神機能評価学演習の内容を復習しておくこと。 事後学習（30分）：実技を繰り返し行い、実践できるように学習すること。	畑田・萩原
11	症例を通しての評価プロセスの理解 模擬症例の課題の抽出の実践 事前学習（30分）：提示する疾患の復習、必要な評価項目を確認してください。 事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。	畑田・萩原
12	症例を通しての評価プロセスの理解（プログラム立案）① 模擬症例のプログラム立案と実践 事前学習（30分）：提示する疾患の復習、必要な評価項目を確認してください。 事後学習（30分）：症例に関する資料を完成させ、提出してください。	畑田・萩原
13	症例を通しての評価プロセスの理解（プログラム立案）② 模擬症例のプログラム立案と実践 事前学習（30分）：提示する疾患の復習、必要な評価項目を確認しておくこと。 事後学習（30分）：統合と解釈を記述できるよう参考書籍などで学習してください。	畑田・萩原
14	MTDLPでのまとめ方 模擬症例のMTDLPでのまとめ方、実践 事前学習（30分）：提示する疾患の復習、必要な評価項目を確認しておくこと。 事後学習（30分）：統合と解釈を記述できるよう参考書籍などで学習すること。	畑田・萩原
15	全体の復習とまとめ 精神分野の作業療法評価のまとめ 事前学習（30分）：作業療法評価に関する知識を整理しておくこと。 事後学習（30分）：定期試験・口頭・実技試験に向けて学習すること。	畑田・萩原
教科書	1. 精神障害と作業療法 新版：山根寛、三輪書店 2. 配布プリント	
参考図書	1. 作業療法評価学 改訂第2版、監修：長崎重信：MEDICALVIEW	
成績評価	定期試験成績（80%）、講義中の課題（20%）により認定する。	

オフィスアワー	畑田：火曜日 5限、萩原：金曜日 5限。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	
実務経験のある 教員による授業	畑田早苗 実務経験：平成3年5月～平成14年3月 近森病院第二分院（精神科）に作業療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、実習は、精神科病院での臨床経験および教育・精神機能作業療法関連の研究経験に基づいて行う。 萩原賢二 実務経験：平成15年4月～平成27年9月 芸西病院に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(学術)の学位を有しており、実習は、一般病院での精神領域の臨床経験および教育・精神機能作業療法関連の研究経験に基づいて行う。

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	神経機能評価学実習	実習	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	片岡 聡子：修士（保健学）作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
	箭野 豊：修士（医科学）作業療法士					○	
授 業 概 要							
<p>作業療法の中核の一つとなる神経機能に関する評価について理解を深める。中枢神経障害に対する評価を中心に運動麻痺、協調性障害、高次脳機能障害に対する評価の意義や目的、重要性を理解しつつ、知識とともに実践する能力を身につけていく。収集した情報の因果関係を考え、分析する能力を身につける。</p>							
学 習 目 標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経機能を評価する各検査・測定を理解する。 2. 神経機能の障害の背景を理解する。 3. 各検査・測定を実施できる。 4. 画像評価（脳・脊髄）を通じて神経機能について理解を深める。 							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	<p>中枢神経障害に対する評価の概論 中枢神経障害の障害構造について解説する。 事前学習（30分）：事前に必要な道具(打腱器など)を準備してください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習してください。</p>						片岡・箭野
2	<p>中枢神経障害に対する評価（運動麻痺）① 運動麻痺について、検査の進め方、各種検査、注意点について解説し、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：資料を事前に読み、運動麻痺の評価方法について学習してください。 事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>						片岡・箭野
3	<p>中枢神経障害に対する評価（感覚障害）② 感覚障害について、検査の進め方、各種検査、注意点について解説し、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、感覚の経路について生理学Ⅰの復習をしておくこと。 事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>						片岡・箭野
4	<p>筋緊張検査、腱反射、病的反射 筋緊張検査、腱反射、病的反射の定義、評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学Ⅰの復習をしてください。 事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>						片岡・箭野

5	<p>協調性障害に対する評価 協調性運動について、検査の進め方、各種検査、注意点について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、運動の協調性について脳の解剖学・生理学の復習をしてください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野
6	<p>高次脳機能検査の概論 高次脳機能の定義、評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学Ⅰ・高次脳機能についての復習をしてください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野
7	<p>失認に関する評価 失認の種類、評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学Ⅰ・高次脳機能についての復習をしてください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野
8	<p>失行に関する評価 失行の種類、評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学Ⅰ・高次脳機能についての復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野
9	<p>認知機能評価① 認知機能の評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学Ⅰ・高次脳機能についての復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野
10	<p>認知機能評価② 認知機能の評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学Ⅰ・高次脳機能についての復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野
11	<p>前頭葉機能評価 前頭葉機能の評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、脳の構造・機能（前頭葉）についての復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野
12	<p>注意機能の評価 前頭葉機能の評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、注意機能と脳機能についての復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野
13	<p>記憶の評価 前頭葉機能の評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、生理学（記憶のメカニズム）についての復習をしておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野

14	<p>上肢機能検査</p> <p>上肢機能の評価の進め方、評価尺度について解説し、グループ学習で実技を行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、日常清潔における上肢に必要な機能について考えをまとめておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	片岡・箭野
15	<p>画像検査①（脳）</p> <p>脳血管障害の脳画像（CT・MRI）について解説し、読影ができるように多くの画像をグループディスカッションを通して行う。</p> <p>事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、脳の構造について復習し、画像の読影方法を確認しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画・参考文献を確認すること。</p>	片岡・箭野
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. コツさえわかればあなたも読める リハに役立つ脳画像 改訂第2版 2. 標準作業療法学 [専門分野] 作業療法評価学 第4版 3. 標準作業療法学 [専門分野] 身体機能作業療法学 第3版 4. PT・OTのための臨床技能とOSCE 第2版 補改訂版 5. 配布プリント 	
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベッドサイドの神経の診かた 南山堂 2. 脳卒中最前線 第4版 医歯薬出版株式会社 	
成績評価	定期試験と課題（50%）、口頭・実技試験（50%）により認定する。	
オフィスアワー	片岡・箭野：月曜日 5限。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある教員による授業	<p>片岡聡子 実務経験：平成15年4月～平成20年3月 山梨温泉病院（現：山梨リハビリテーション病院）に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(保健学)の学位を有しており、実習は、一般病院での神経機能作業療法における臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。</p> <p>箭野 豊 実務経験：平成11年4月～平成17年3月 富士温泉病院に作業療法士として勤務 平成17年4月～平成18年3月 山梨県立富士ふれあいセンターに作業療法士として勤務 平成19年4月～平成26年9月 石川病院（現 HITO病院）に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(医科学)の学位を有しており、実習は、一般病院での神経機能作業療法における臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。</p>	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	発達機能評価学実習	実習	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	石附智奈美：博士（保健医療学）作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
<p>発達機能評価学実習では、発達障害に対する作業療法について学習する。発達の観点から障害を捉え、発展的、包括的に障害を理解するために、粗大運動や巧緻運動、遊びを通して視知覚、認知、社会性の評価を理解する。また、各評価と疾患の病態を結びつけることができるように学習する。</p>							
学 習 目 標							
<p>1. 発達機能を評価する各検査・測定を理解する。 2. 発達機能の障害の背景を理解する。 3. 遊びも含めて各検査・測定を実施できる。 4. 各種疾患の評価の特徴を理解する。</p>							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	<p>発達機能評価の概要 子どもと発達過程作業療法の理念と目的、発達障害の定義について 事前学習（30分）：事前に教科書の範囲を指定するので通読し、用語などを確認しておいでください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習してください。</p>						石附智奈美
2	<p>発達の一般原則 発達段階区分、作業療法と発達課題について 事前学習（30分）：事前に教科書の範囲を指定するので通読し、用語などを確認しておいでください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習してください。</p>						石附智奈美
3	<p>姿勢・移動・巧緻運動の発達と評価1 姿勢反射と運動発達、異常性反射と運動発達障害について 事前学習（30分）：事前に教科書の範囲を指定するので通読し、用語などを確認しておいでください。 事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>						石附智奈美
4	<p>姿勢・移動・巧緻運動の発達と評価2 移動粗大運動の発達と評価について 事前学習（30分）：事前に教科書の範囲を指定するので通読し、用語などを確認しておいでください。 事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>						石附智奈美

5	<p>姿勢・移動・巧緻運動の発達と評価3 巧緻運動の発達と評価について</p> <p>事前学習（30分）：事前に教科書の範囲を指定するので通読し、用語などを確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習してください。</p>	石附智奈美
6	<p>各種発達検査 発達検査と運動発達検査、その他の検査について</p> <p>事前学習（30分）：各種検査内容を確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	石附智奈美
7	<p>認知の発達と評価 子どもの認知機能・社会性の発達と評価：定型発達、発達障害の特性</p> <p>事前学習（30分）：各種検査内容を確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	石附智奈美
8	<p>遊びの発達・評価 子どもの遊びの発達と分析・評価：定型発達、発達障害の特性</p> <p>事前学習（30分）：事前配布資料、該当する教科書を確認し、遊びの種類や内容を確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	石附智奈美
9	<p>視知覚機能の評価 目と手の発達、視知覚・視覚認知の評価について</p> <p>事前学習（30分）：各種検査内容を確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	石附智奈美
10	<p>遊具の治療的使用 遊具の治療的使用における評価について</p> <p>事前学習（30分）：事前に教科書の範囲を指定するので通読し、用語などを確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	石附智奈美
11	<p>作業遂行要素の評価1 粗大運動の作業遂行・身辺処理の評価</p> <p>事前学習（30分）：各種検査内容を確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	石附智奈美
12	<p>作業遂行要素の評価2 巧緻運動の作業遂行・身辺処理の評価</p> <p>事前学習（30分）：事前配布資料、該当する教科書を確認し、巧緻運動の種類、検査内容を確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：実践できるように、繰り返し練習してみてください。</p>	石附智奈美
13	<p>脳性麻痺に対する評価 脳性麻痺の定義、原因、臨床像、障害の特徴、作業療法評価について</p> <p>事前学習（30分）：事前配布資料、該当する教科書を確認し、脳性麻痺について確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料、提示動画で復習してください。</p>	石附智奈美
14	<p>発達障害に対する評価 自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害、限局性学習障害、発達性協調運動障害の特性、臨床像、障害の特徴、作業療法評価について</p> <p>事前学習（30分）：事前配布資料、該当する教科書を確認し、発達障害の特性について確認しておいでください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料、提示動画で復習してください。</p>	石附智奈美

15	<p>重症心身障害に対する評価 重症心身障害の定義、医療的ケア児、NICU後方支援、多職種連携（医療・福祉・教育）、作業療法評価について</p> <p>事前学習（30分）：事前配布資料、該当する教科書を確認し、重症心身障害、医療的ケア児の現状について確認しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料、提示動画で復習してください。</p>	石附智奈美
教科書	<p>1. 発達障害作業療法学 第3版 ゴールドマスターテキスト 長崎重信（監修）メジカルビュー社 2021</p> <p>2. 運動発達と反射 反射検査の手技と評価 医歯薬出版 1983</p> <p>3. 配布資料</p>	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験成績（80%）、講義中の課題（20%）により認定する。	
オフィスアワー	火曜日 12時30分～13時。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある教員による授業	<p>石附智奈美</p> <p>実務経験：平成元年4月～平成7年3月 心身障害児総合医療療育センターに作業療法士として勤務 平成7年5月～平成8年3月 青木病院デイケアに作業療法士として勤務 平成8年4月～平成11年3月 広島市子ども療育センターに作業療法士として勤務 平成11年6月～平成12年3月 老人保健施設あきまろ園に作業療法士として勤務</p> <p>担当教員は、博士(保健医療学)の学位を有しており、実習は、療育センターでの発達領域における臨床経験および教育・発達機能作業療法関連の研究経験に基づいて行う。</p>	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	身体機能作業療法学 I	講義	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	片岡 聡子：修士（保健学）作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授業概要							
脳血管障害および脳外傷の発生機序と臨床像を学習する。急性期・回復期・維持期（生活活動期）など各病期別における対象者の全体像の理解、一般的な回復段階、それらの臨床像に応じた検査・測定、臨床上みられやすい問題点、適切な目標設定、回復段階や病態などの個別性に対応した作業療法アプローチについて学修する。							
学習目標							
1. 脳血管障害および脳外傷の臨床像について説明できる。 2. 脳血管障害および脳外傷の発症からの時期に応じた作業療法アプローチの内容を列挙できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>					○	
授業計画							
回	内容						担当教員
1	脳血管障害の基礎知識 脳血管障害の種類、臨床症状について解説します。 事前学習（30分）：シラバスを確認し、必要なキーワードを復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						片岡 聡子
2	機能局在と症状① 画像所見と臨床症状について解説します。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読し、脳機能について復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						片岡 聡子
3	機能局在と症状② 画像所見と臨床症状について解説します。 事前学習（30分）：単元の事前学習としてテキストの範囲を通読し、脳機能について復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						片岡 聡子
4	障害像の理解① 筋緊張（痙性）の基礎知識、評価、治療手技について解説します。 事前学習（30分）：神経機能評価学演習で行った内容を復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						片岡 聡子
5	障害像の理解② 協調性障害に対する基礎知識、評価、治療手技について解説します。 事前学習（30分）：神経機能評価学演習で行った内容を復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						片岡 聡子

6	<p>障害像の理解③</p> <p>感覚・知覚の役割、評価、再教育、学習プログラムについて解説します。</p> <p>事前学習（30分）：神経機能評価学演習で行った内容を復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	片岡 聡子
7	<p>片麻痺の回復過程</p> <p>回復過程と評価、臨床症状について解説します。</p> <p>事前学習（30分）：日常生活動作学で行った内容を復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	片岡 聡子
8	<p>急性期作業療法①</p> <p>急性期でのプログラム(ポジショニング、離床練習、リスク管理)について解説します。</p> <p>事前学習（30分）：神経機能評価学演習で行った内容を復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	片岡 聡子
9	<p>急性期作業療法②</p> <p>急性期でのプログラム（早期リハ、ADL練習）について解説します。</p> <p>事前学習（30分）：提示する疾患の内容を予習・復習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	片岡 聡子
10	<p>回復期作業療法①</p> <p>回復期でのプログラム（機能回復練習、最新リハ）について解説します。</p> <p>事前学習（30分）：提示する疾患の内容を予習・復習しておくこと。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習すること。</p>	片岡 聡子
11	<p>回復期作業療法②</p> <p>回復期でのプログラム（課題指向型アプローチ、高次脳機能、ADL練習）について解説します。</p> <p>事前学習（30分）：提示する疾患の内容を予習・復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	片岡 聡子
12	<p>生活期作業療法①</p> <p>生活関連活動に対するアプローチ、自宅復帰に向けた支援解説します。</p> <p>事前学習（30分）：臨床推論について予習・復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	片岡 聡子
13	<p>生活期作業療法②</p> <p>生活期で利用できるリハサービス、目標について解説します。</p> <p>事前学習（30分）：提示する疾患の内容を予習・復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	片岡 聡子
14	<p>評価の流れとICF</p> <p>脳血管障害の評価プロセスとICFとの関連、臨床推論、根拠に基づく実践、治療理論について解説します。</p> <p>事前学習（30分）：提示する疾患の内容を予習・復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：統合と解釈を記述できるよう書籍などで学習しておいてください。</p>	片岡 聡子
15	<p>まとめ</p> <p>脳血管障害に対する作業療法の総まとめと多職種との連携について解説します。</p> <p>事前学習（30分）：今までの講義の資料を確認し、知識を整理しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示した講義内容のポイントをまとめてみてください。</p> <p>定期試験に向けて学習してください。</p>	片岡 聡子
教科書	<p>1. リハ実践テクニック 脳卒中 第3版 メジカルビュー社</p> <p>2. 配布プリント</p>	
参考図書	<p>1. リハビリテーションの思想—人間復権の医療を求めて— 上田敏（著） 医学書院</p> <p>2. セラピストのための概説リハビリテーション 嶋田智明（編） 文光堂</p>	

成績評価	定期試験成績（80％）、講義中の課題（20％）により認定する。
オフィスアワー	月曜日 5限。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	
実務経験のある 教員による授業	片岡聡子 実務経験：平成15年4月～平成20年3月 山梨温泉病院（現：山梨リハビリテーション病院）に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(保健学)の学位を有しており、講義は、一般病院での身体機能作業療法（脳血管障害）に対する多彩な臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	身体機能作業療法学Ⅱ	講義	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	國友 晃：作業療法士<非常勤講師> 愛宕病院					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
リハビリテーションの対象となる各種疾患、特に神経筋疾患を中心にその病態とリハビリテーションの関連を知る。作業療法を実施する上でのリスク管理、検査・測定、医学的治療、生活機能とその障害について学修する。また、各疾患の全体像の把握を把握するための評価の視点、具体的治療内容について実践を交えて学修する。							
学 習 目 標							
1. 神経疾患のイメージをつける。 2. パーキンソン症候群・運動失調に対する作業療法を理解する。 3. 神経筋疾患に対する作業療法を理解する。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	パーキンソン病の作業療法① パーキンソン病の概要 事前学習（30分）：パーキンソン病について調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						國友 晃
2	パーキンソン病の作業療法② パーキンソン病の評価 事前学習（30分）：パーキンソン病の概要について復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						國友 晃
3	パーキンソン病の作業療法③ パーキンソン病に対する介入 事前学習（30分）：パーキンソン病の評価を復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						國友 晃
4	パーキンソン病の作業療法④ パーキンソン病に対する作業療法 事前学習（30分）：パーキンソン病の介入を復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						國友 晃
5	脊髄小脳変性症の作業療法① 脊髄小脳変性症の概要 事前学習（30分）：脊髄小脳変性症について調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						國友 晃

6	<p>脊髄小脳変性症の作業療法②</p> <p>脊髄小脳変性症の評価と作業療法</p> <p>事前学習（30分）：脊髄小脳変性症の概要を復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	國友 晃
7	<p>多発性硬化症の作業療法①</p> <p>多発性硬化症の概要</p> <p>事前学習（30分）：多発性硬化症について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	國友 晃
8	<p>多発性硬化症の作業療法②</p> <p>多発性硬化症の評価と作業療法</p> <p>事前学習（30分）：多発性硬化症の概要を復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	國友 晃
9	<p>ギランバレー症候群の作業療法①</p> <p>ギランバレー症候群の概要</p> <p>事前学習（30分）：ギランバレー症候群について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	國友 晃
10	<p>ギランバレー症候群の作業療法②</p> <p>ギランバレー症候群の評価と作業療法</p> <p>事前学習（30分）：ギランバレー症候群の概要について復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習すること。</p>	國友 晃
11	<p>筋萎縮性側索硬化症の作業療法①</p> <p>筋萎縮性側索硬化症の概要。</p> <p>事前学習（30分）：筋萎縮性側索硬化症について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	國友 晃
12	<p>筋萎縮性側索硬化症の作業療法②</p> <p>筋萎縮性側索硬化症の評価と作業療法</p> <p>事前学習（30分）：筋萎縮性側索硬化症の概要について復習しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	國友 晃
13	<p>重症筋無力症の作業療法</p> <p>重症筋無力症の概要と評価・作業療法。</p> <p>事前学習（30分）：重症筋無力症について調べておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	國友 晃
14	<p>筋ジストロフィーの作業療法</p> <p>筋ジストロフィーの概要と評価・作業療法</p> <p>事前学習（30分）：筋ジストロフィーについて調べておいてください。。</p> <p>事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習しておいてください。</p>	國友 晃
15	<p>まとめ</p> <p>本授業で学んだ各疾患の振り返りを行う。</p> <p>事前学習（30分）：今までの講義の資料を確認し、知識を整理しておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：提示した講義内容のポイントをまとめてみてください。</p> <p>定期試験に向けて学習してください。</p>	國友 晃
教科書	1. 標準作業療法学 身体機能作業療法学 第4版 医学書院	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験成績（80％）、講義中の課題（20％）により認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	

留意事項	
実務経験のある 教員による授業	國友 晃 実務経験：平成23年4月～現在 愛宕病院 に作業療法士として勤務 担当教員は、一般病院での作業療法の臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。

履修	科目区分	授業科目	授業形態	単位数	時間数	配当年次	学期
必須	専門	高次脳機能作業療法学	講義	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	稲富 惇一：博士（医学）作業療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					実務経験のある 教員による科目 ○	
授業概要							
<p>作業療法士が介入する機会の多い脳卒中患者のほとんどは高次脳機能障害を発症している。高次脳機能障害を呈すると、様々な機能障害により、日常生活動作が制限されquality of lifeの低下に繋がる。また家族の介助負担も大きいことが知られている。本授業では作業療法士が対象者のより良い生活の再獲得に向けて必要となる、各高次脳機能障害の概要や障害の程度を把握する評価、および効果的な作業療法介入について学んでいく。</p>							
学習目標							
1. 各高次脳機能障害の概要について説明できる。 2. 各高次脳機能障害の損傷部位を脳画像を見て同定できる。 3. 各高次脳機能障害の評価方法を立案でき実施できる。 4. 各高次脳機能障害の作業療法介入を列挙できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	総論、高次脳機能障害とOT 高次脳機能障害の概要について説明します。 事前学習：高次脳機能障害とはどのような症状が起こるのか調べておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						稲富 惇一
2	脳画像 脳機能の理解と同定 CT・MRI画像を見て部位の同定と症状の予測について説明します。 事前学習：解剖学・生理学の脳機能に関する復習をしておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						稲富 惇一
3	注意障害の概要と脳損傷部位の同定 注意障害の概要と責任病巣について説明します。 事前学習：注意障害について調べておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						稲富 惇一
4	注意障害への評価と作業療法介入 注意障害の評価と作業療法介入について説明します。 事前学習：注意障害の概要と責任病巣を復習しておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						稲富 惇一
5	半側空間無視の概要と脳損傷部位の同定 半側空間無視の概要と責任病巣について説明します。 事前学習：半側空間無視について調べておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。						稲富 惇一

6	半側空間無視への評価と作業療法介入 半側空間無視の評価と作業療法介入について説明します。 事前学習：半側空間無視の概要と責任病巣を復習しておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
7	失語症の概要と脳損傷部位の同定 失語症の概要と責任病巣について説明します。 事前学習：失語症について調べておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
8	失語症への評価と作業療法介入 失語症の評価と作業療法介入について説明します。 事前学習：失語症の概要と責任病巣を復習しておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
9	失行の概要と脳損傷部位の同定 失行の概要と責任病巣について説明します。 事前学習：失行について調べておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
10	失行への評価と作業療法介入 失行の評価と作業療法介入について説明します。 事前学習：失行の概要と責任病巣を復習しておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
11	失認の概要と脳損傷部位の同定 失認の概要と責任病巣について説明します。 事前学習：失認について調べておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
12	失認への評価と作業療法介入 失認の評価と作業療法介入について説明します。 事前学習：失認の概要と責任病巣を復習しておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
13	記憶障害の概要と脳損傷部位の同定および評価と作業療法介入 記憶障害の概要・責任病巣と評価・作業療法介入について説明します。 事前学習：記憶障害について調べておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
14	遂行機能の概要と脳損傷部位の同定および評価と作業療法介入 遂行機能障害の概要・責任病巣と評価・作業療法介入について説明します。 事前学習：遂行機能障害について調べておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
15	まとめ 本授業で学んだ各疾患の振り返りを行います。 事前学習：今までの講義の資料を確認し、知識を整理しておいてください。 事後学習：講義資料・関連資料で復習しておいてください。	稲富 惇一
教科書	1. 高次脳機能障害のリハビリテーション Ver3. 竹仇克彦, 他. 医歯薬出版株式会社, 2018 2. 配布資料	
参考図書	文検等を適宜紹介します。	
成績評価	定期試験成績（90%）、講義中の課題（10%）により認定する。	
オフィスアワー	外部講師のためofficeアワーは設定しません。講義後質問を受け付けます。	

留意事項	
実務経験のある 教員による授業	<p>稲富 惇一</p> <p>実務経験：平成23年4月～平成29年3月 森ノ宮病院 に作業療法士として勤務</p> <p>担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、実習は、一般病院での脳卒中に対する作業療法の臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。</p>

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	精神機能作業療法学 I	講義	1	30	2	前期
担当教員							
科目責任者	畑田 早苗：博士（医学）作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
精神障害者を取り巻く歴史を理解し、精神障害者に対する理解を深めるとともに、精神障害者に対するリハビリテーション、作業療法の役割を学習する。精神障害者の行動特性を理解し、様々な治療理論や具体的な作業療法のアプローチを構造論から学ぶ。精神症状を理解するとともに薬物における作用、副作用の理解も深める。							
学 習 目 標							
1. 精神医療の歴史と精神障害者について理解できる。 2. 精神障害者とリハビリテーション並びに作業療法について理解できる。 3. 精神疾患と発達論の関係性を理解できる。 4. 統合失調症者に対する作業療法の役割を理解し説明することができる。 5. 作業療法と薬物療法の関係について理解できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>					○	
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	精神障害の作業療法学の学習の心構え 精神障害と作業療法の関わり、精神障害の概念の変遷、捉え方について解説する。 事前学習（30分）：シラバスを確認し、必要なキーワードを復習しておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。						畑田 早苗
2	精神医療を取り巻く状況 精神医療と作業療法との関係、役割について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。						畑田 早苗
3	精神医療の歴史・精神障害の特性 精神障害作業療法の歴史（世界・日本）、精神障害の特性について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。						畑田 早苗
4	精神障害者の特性 精神障害の代表的な疾患に関し、その特性について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。						畑田 早苗

5	<p>精神科リハビリテーションの視点 精神科リハビリテーションの技法について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗
6	<p>精神科作業療法の実践の場 精神科作業療法の実践実践理論を、治療構造論に基づいて解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗
7	<p>精神科作業療法の過程と実際 精神科作業療法の過程について解説し、作業療法士の実際について理解を深める。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗
8	<p>最新障害と発達論 精神障害と心理社会的発達理論について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗
9	<p>治療理論① 精神力動、集団力動の治療理論について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗
10	<p>治療理論② 発達理論、学習理論、作業理論について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗
11	<p>作業療法の治療機序 身体的体験、精神的体験、心理社会的体験からみた治療機序について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗
12	<p>治療構造① 治療構造論による精神科作業療法について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗
13	<p>治療構造② 精神科作業療法の実践理論を、治療構造論に基づいて解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗
14	<p>作業療法と薬物療法 精神科における薬物療法の理解を深め、作業療法との関係について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習し、学習を深めてください。</p>	畑田 早苗

15	<p>全体の復習・まとめ</p> <p>精神科作業療法について整理し、理解を深める。</p> <p>事前学習（30分）：今までの講義内容を復習し、まとめておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義中に示したポイントについてまとめ、定期試験に向けて学習してください。</p>	畑田 早苗
教科書	1. 精神障害と作業療法 病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践 山根寛 三輪書店	
参考図書	1. 生活を支援する精神障害作業療法 急性期から地域実践まで：編著：香山明美、小林正義、鶴見隆彦：医歯薬出版株式会社 2. 精神疾患の理解と精神科作業療法第3版：編著：堀田英樹：中央法規 3. 精神障害作業療法学：監修：長崎重信：MEDICALVIEW 4. うつの作業療法：早坂友成、稲富宏之：医歯薬出版株式会社	
成績評価	定期試験成績（80%）、講義中の課題（20%）により認定する。	
オフィスアワー	火曜日 5限。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前予約を取ってください。	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	<p>畑田 早苗</p> <p>実務経験：平成3年5月～平成14年3月 近森病院第二分院（精神科）に作業療法士として勤務</p> <p>担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、精神科病院での臨床経験および教育・精神機能作業療法関連の研究経験に基づいて行う。</p>	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	精神機能作業療法学Ⅱ	講義	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	畑田 早苗：博士（医学） 作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
○							
授業概要							
精神障害（統合失調症、気分障害、神経症性障害、パーソナリティ障害、摂食障害など）に関する具体的疾患を取り上げ、治療過程による関わりを学習する。精神科作業療法における知識、技能を学習する。事例を通して脳機能と精神症状、身体症状の関連性を理解し、精神障害者に対する作業療法アプローチの実践を理解する。							
学習目標							
1. 各評価項目の目的や一般の手順を説明できる。 2. 一般的な評価技術について、その理論を説明でき、かつ正しく実施できる。 3. 評価結果から統合と解釈について理解し、症例の問題点の抽出ができ治療目標を立案できる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>						主要授業科目
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	オリエンテーション 精神機能作業療法の基本原則、障害の捉え方について解説する。 事前学習（30分）：精神機能作業療法学Ⅰを復習し、まとめておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習しておいてください。						畑田 早苗
2	統合失調症の作業療法① 統合失調症の特性、病型、障害構造について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。						畑田 早苗
3	統合失調症の作業療法② 統合失調症に対する作業療法の機能、アプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。						畑田 早苗
4	統合失調症の作業療法③ 病期別のアプローチの方法について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。						畑田 早苗
5	気分障害の作業療法① 気分障害の特性、区分、障害構造について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。						畑田 早苗

6	気分障害の作業療法② 気分障害に対する作業療法の機能、病期別のアプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。	畑田 早苗
7	神経症性障害の作業療法 神経症性障害に対する作業療法の機能、病期別のアプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。	畑田 早苗
8	PTSDの作業療法 PTSDに対する作業療法の機能、病期別のアプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。	畑田 早苗
9	パーソナリティ障害の作業療法 パーソナリティ障害に対する作業療法の機能、病期別のアプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。	畑田 早苗
10	摂食障害の作業療法 摂食障害に対する作業療法の機能、病期別のアプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。	畑田 早苗
11	発達障害の作業療法 発達障害に対する作業療法の機能、病期別のアプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。	畑田 早苗
12	てんかんの作業療法 てんかんに対する作業療法の機能、病期別のアプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。	畑田 早苗
13	アルコール・薬物依存症の作業療法 アルコール・薬物依存症に対する作業療法の機能、病期別のアプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。	畑田 早苗
14	認知症の作業療法 認知症の病型、作業療法の機能、病期別のアプローチ、支援について解説する。 事前学習（30分）：配布資料・指定する教科書の範囲を通読し、キーワードを調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料、提示動画を使って復習しておいてください。	畑田 早苗

15	<p>まとめ</p> <p>精神機能作業療法について整理し、理解を深める。</p> <p>事前学習（30分）：今までの講義内容を復習し、まとめておいてください。</p> <p>事後学習（30分）：講義中に示したポイントについてまとめ、定期試験に向けて学習してください。</p>	畑田 早苗
教科書	1. 精神障害と作業療法 病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践 山根寛 三輪書店	
参考図書	<p>1. 生活を支援する精神障害作業療法 急性期から地域実践まで：編著：香山明美、小林正義、鶴見隆彦：医歯薬出版株式会社</p> <p>2. 精神疾患の理解と精神科作業療法第3版：編著：堀田英樹：中央法規</p> <p>3. 精神障害作業療法学：監修：長崎重信：MEDICALVIEW</p> <p>4. うつの作業療法：早坂友成、稲富宏之：医歯薬出版株式会社</p>	
成績評価	定期試験成績（80%）、講義中の課題（20%）により認定する。	
オフィスアワー	火曜日 5限。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	<p>畑田 早苗</p> <p>実務経験：平成3年5月～平成14年3月 近森病院第二分院（精神科）に作業療法士として勤務</p> <p>担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、精神科病院での臨床経験および教育・精神機能作業療法関連の研究経験に基づいて行う。</p>	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	日常生活活動学	講義	1	30	2	後期
担当教員							
科目責任者	桂 雅俊：経営修士（専門職） 作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授業概要							
本講義は、作業療法士にとって重要な治療対象である日常生活活動（ADL）・手段的日常生活活動（IADL）の構成要素・位置づけについて学修し、健常者と障害者での動作の違いを説明していく。また、作業療法場面におけるADL・IADL・QOLの各種評価について、目的や方法を理解し、実践する能力を身に付けることで適切な評価を行えるようにグループでの学習などを取り入れて実施する。							
学習目標							
1. ADL・IADL・QOLの構成要素、位置づけについて説明できる。 2. ADLにおける正常パターンでの動作過程（工程）を列挙することができる。 3. 各種評価様式の特徴について理解し、評価の実践を行うことができる。							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授業計画							
回	内 容					担当教員	
1	ADL・IADLについて 評価の目的、ADL・IADLの構成要素、位置付けについて概説する。 事前学習（30分）：配布資料を通読し、ADL・IADLについて調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習し、まとめてください。					桂 雅俊	
2	生活行為からみたADL、IADL（事例解説） 事例を解説を、グループ学習について説明する。 事前学習（30分）：事前配布資料を通読し、事例について必要事項を調べ、生活行為について考えておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習し、まとめてください。					桂 雅俊	
3	健常者における起居・移乗・移動・階段 起居・移乗・移動・階段動作の重要なポイントを概説する。 事前学習（30分）：事前配布資料を通読し、起居・移乗・移動・階段動作に必要な要素を調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習し、まとめてください。					桂 雅俊	
4	障害者における起居・移乗・移動・階段 起居・移乗・移動・階段動作の評価・アプローチポイントを概説する。 事前学習（30分）：事前配布資料を通読し、各疾患の特徴、起居・移乗・移動・階段動作について調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習し、まとめてください。					桂 雅俊	
5	健常者における食事 食事動作の重要なポイントを概説する。 事前学習（30分）：配布資料を通読し、食事動作に必要な要素を調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習し、まとめてください。					桂 雅俊	

6	<p>障害者における食事 食事動作の評価・アプローチポイントを概説する。 事前学習（30分）：事前配布資料を通読し、各疾患の特徴、食事動作について調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習し、まとめてください。</p>	桂 雅俊
7	<p>健常者における整容・更衣 整容・更衣動作の重要なポイントを概説する。 事前学習（30分）：事前配布資料を通読し、整容・行為動作に必要な要素を調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習し、まとめてください。</p>	桂 雅俊
8	<p>障害者における整容・更衣 整容・更衣動作の評価・アプローチポイントを概説する。 事前学習（30分）：事前配布資料を通読し、各疾患の特徴、整容・更衣動作について調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習し、まとめてください。</p>	桂 雅俊
9	<p>健常者における排泄・入浴 排泄・入浴動作の重要なポイントを概説する。 事前学習（30分）：事前配布資料を通読し、排泄・入浴に必要な動作を調べておいてください。 事後学習（30分）：就労支援の実例を検索し、学習を深めてください。</p>	桂 雅俊
10	<p>障害者における排泄・入浴 排泄・入浴動作の評価・アプローチポイントを概説する。 事前学習（30分）：事前配布資料を通読し、各疾患の特徴、排泄・入浴について調べておいてください。 事後学習（30分）：講義資料を復習し、まとめてください。</p>	桂 雅俊
11	<p>ADL・IADL・QOLの各評価尺度、FIMグループ課題提示 ADL・IADL・QOLの各評価尺度の重要なポイントを概説し、グループ課題を提示する。 事前学習（30分）：事前にグループで講義内容を確認しておいてください。 事後学習（30分）：グループ発表に準備をしてください。</p>	桂 雅俊
12	<p>FIMグループ課題発表① 事例検討を通して、FIMについてグループ発表・ディスカッションを行う。 事前学習（30分）：グループ発表の準備・練習をしておいてください。 事後学習（30分）：各グループ発表の内容をまとめて提出してください。</p>	桂 雅俊
13	<p>FIMグループ課題発表② 事例検討を通して、FIMについてグループ発表・ディスカッションを行う。 事前学習（30分）：グループ発表の準備・練習をしておいてください。 事後学習（30分）：各グループ発表の内容をまとめて提出してください。</p>	桂 雅俊
14	<p>FIMグループ課題発表③ 事例検討を通して、FIMについてグループ発表・ディスカッションを行う。 事前学習（30分）：グループ発表の準備・練習をしておいてください。 事後学習（30分）：各グループ発表の内容をまとめて提出してください。</p>	桂 雅俊
15	<p>まとめ ADL・IADL・QOLについて整理し、理解を深める。 事前学習（30分）：事前配布資料を通読し、ADL・IADL・QOLについてまとめておいてください。 事後学習（30分）：レポート課題に向けて学習すること。</p>	桂 雅俊

教科書	<ul style="list-style-type: none"> 1. 標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 医学書院 2. PT・OTビジュアルテキスト ADL 羊土社 3. 脳卒中の機能評価－SIASとFIM [基礎編] 千野直一他 金原出版
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 1. 新版 日常生活活動（ADL） 第2版 評価と支援の実際 医歯薬出版 2. PT・OT・STイラスト・図解でまるわかり！「こんなことも知らないの？」と言われなかったためのリハビリの基本のキホン Kinpodo 3. ADL 作業療法の戦略・戦術・技術 第2版 生田宗博（編） 三輪書店
成績評価	レポート課題（60％）、グループ発表（40％）の内容を総合的に評価
オフィスアワー	金曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	
実務経験のある 教員による授業	<p>桂 雅俊</p> <p>実務経験：平成23年4月～平成27年3月 あさひ病院に作業療法士として勤務 平成27年4月～平成31年3月 総合病院回生病院に作業療法士として勤務</p> <p>担当教員は、修士(経営学)の学位を有しており、講義は、一般病院での身体領域の多彩な臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。</p>

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	専門	生活行為向上マネジメント演習	演習	1	15	2	後期
担当教員							
科目責任者	桂 雅俊：経営修士（専門職） 作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
	稲富 惇一：博士（医学） 作業療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					○	
授 業 概 要							
<p>私たちの生活は、単に身の周りの動作ができるだけでなく、「その人にとって意味のある作業」を日々の生活の中で実施し、その行為から満足感や充実感を得ることで、健康で充実した生活を送ることができている。しかし、加齢や病気による心身機能の低下により、これまでできていた生活行為が困難になる等、生活をする上で様々な作業の作り直しが求められる。本講義では、生活意欲を高めるもととなる「その人にとって大切で意味のある生活行為」を再び行えるようにするために作業療法士の思考過程を可視化したツールである生活行為向上マネジメントを用いて、生活行為向上に向けた目標設定、評価ツールの使用方法、支援の提案について多職種も含めた活用の方法を学修する。</p>							
学 習 目 標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活行為向上マネジメント開発の背景と概要について理解できる。 2. 生活行為向上マネジメントツールについて理解し、実践できるようになる。 3. 対象者を評価するうえで必要な項目及びどのような情報を収集すべきか記載・表現できる。 4. 各種評価の結果を文章化し、統合と解釈が行えることで問題点の優先順位をつけることができる。 5. 生活行為向上マネジメントツールを多職種と連携して活用できる。 							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>						
授 業 計 画							
回	内 容						担 当 教 員
1	<p>生活行為向上マネジメントの概要 生活行為向上マネジメント Management Tool for Daily Life Performance：MTDLPの概要と背景について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：日常生活活動学の復習をしておいてください。</p> <p>事後学習（2時間）：講義資料を復習してください。</p>						桂 ・ 稲富
2	<p>生活行為向上マネジメントの面接技法 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、面接技法の練習を行う。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を通読し、事例を確認し症例内容を復習しておいてください。</p> <p>事後学習（2時間）：面接技法の練習をしてください。</p>						桂 ・ 稲富
3	<p>生活行為向上マネジメントにおけるアセスメント 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、アセスメントの練習を行う。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を通読し、事例を確認し症例内容を復習しておいてください。</p> <p>事後学習（2時間）：提出課題を完成させてください。</p>						桂 ・ 稲富
4	<p>生活行為向上マネジメントの目標設定 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、アセスメントの練習を行う。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を通読し、事例を確認し症例内容を復習しておいてください。</p> <p>事後学習（2時間）：提出課題を完成させてください。</p>						桂 ・ 稲富

5	生活行為向上マネジメントの工程分析 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、目標設定の練習を行う。 事前学習（2時間）：事前配布資料を通読し、事例を確認し症例内容を復習しておいてください。 事後学習（2時間）：提出課題を完成させてください。	桂 ・ 稲富
6	生活行為向上マネジメントのプログラム立案 事例における立案プログラムの発表を行う。 事前学習（2時間）：事前配布資料を通読しておいてください。 事後学習（2時間）：発表に向けて準備をしてください。	桂 ・ 稲富
7	生活行為向上マネジメントの立案プログラムの発表 事例における立案プログラムの発表を行う。 事前学習（2時間）：発表の練習をしてください。 事後学習（2時間）：各発表内容をまとめて提出してください。	桂 ・ 稲富
8	生活行為向上マネジメントの有用性と活用例 MTDLPの利用方法を整理し、多職種連携に向けたMTDLPの有用性と活用例についてまとめ理解を深める。 事前学習（2時間）：事前配布資料を通読し、MTDLPの臨床での活用についてまとめておいてください。 事後学習（2時間）：提出課題を完成させてください。	桂 ・ 稲富
教科書	1.講義用冊子、資料を配布する。	
参考図書	1. 重森健太・横井賀津志（編）：地域リハビリテーション学第2版，羊土社：2019 2. 細田多穂（監）：地域リハビリテーション学テキスト改訂第3版，南江堂：2018 3. 河野 眞（編）：地域包括リハビリテーション実践マニュアル，羊土社：2018	
成績評価	レポート課題（60%）、グループ発表（40%）の内容を総合的に評価	
オフィスアワー	桂：火曜日5限。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	桂 雅俊 実務経験：平成23年4月～平成27年3月 あさひ病院に作業療法士として勤務 平成27年4月～平成31年3月 総合病院回生病院に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(経営学)の学位を有しており、演習は、一般病院での身体領域の多彩な臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。 稲富 惇一 実務経験：平成23年4月～平成29年3月 森ノ宮病院 に作業療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、実習は、一般病院での脳卒中に対する作業療法の臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。	

履修	科目 区分	授業科目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期	
必修	専門	地域リハビリテーション学	講義	1	15	2	後期	
担当教員								
科目責任者	竹林 秀晃：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目		
	滝本 幸治：博士（医学）理学療法士 奈良学園大学					○		
授業概要								
<p>昨今、理学療法士・作業療法の職域は拡大し、医療分野のみならず保健・福祉領域における貢献が求められている。本講義では、前半に本邦の高齢社会における現状・課題等を把握するとともに、地域リハビリテーションに関する制度・役割・手法等について理解することを目的に講義を展開する。地域リハビリテーションに関する領域は多岐にわたるため、地域リハビリテーションにおける職種を知り、その連携の重要性を理解する。</p>								
学習目標								
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域リハビリテーションの定義を理解する。 2. 地域および対象者のアセスメント手法について理解する。 3. 地域リハビリテーションに関する諸制度を理解する。 4. 地域リハビリテーション活動の手法と展開を知る。 5. 地域リハビリテーションにおける多職種連携の重要性を知る。 								
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input checked="" type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目		
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input type="checkbox"/> DP5 <input type="checkbox"/> DP6 <input checked="" type="checkbox"/> DP7 <input checked="" type="checkbox"/>					○		
授業計画								
回	内容						担当教員	
1	<p>地域リハビリテーション概論</p> <p>地域リハビリテーションの歴史、定義と現状について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：シラバスを確認すること。事前配布資料を熟読し、地域リハビリテーションの概要について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>						竹林 秀晃	
2	<p>地域リハビリテーションの展開過程</p> <p>在宅リハビリテーション、地域連携の実際について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域連携の方法について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>						竹林 秀晃	
3	<p>地域リハビリテーションの対象</p> <p>保健事業、学校保健領域、職域保健領域、地域保健領域、公的保険外におけるリハビリテーションについて解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域リハビリテーションの活動・対象について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：住んでいる地域の状況を検索・把握し、課題を提出すること。</p>						竹林 秀晃	
4	<p>地域および対象者のアセスメント</p> <p>健康増進、介護予防、地域包括ケアシステムについて解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域および対象者のアセスメントについて調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>						竹林 秀晃	

5	<p>地域リハビリテーションの諸制度 社会保障制度、介護保険制度、障害者総合支援法、特別支援教育における制度改正について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、諸制度について調べてまとめること。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>	滝本 幸治
6	<p>地域リハビリテーション活動支援事業 就学支援、就労支援、訪問支援、通所支援について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域リハビリテーション活動支援事業について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>	滝本 幸治
7	<p>地域リハビリテーション活動の課題と展望 これからの多様性の社会と地域リハビリテーション、地域における多職種連携について解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、多様性の社会について調べておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>	滝本 幸治
8	<p>まとめ 地域共生社会と地域リハビリテーションのトピックを解説します。</p> <p>事前学習（2時間）：事前配布資料を熟読し、地域共生社会についておくこと。</p> <p>事後学習（2時間）：講義で紹介したHPサイトや参考資料を確認し課題を提出すること。</p>	滝本 幸治
教科書	1.講義用冊子、資料を配布する。	
参考図書	<p>1. 重森健太（編）：地域理学療法学第1版，羊土社：2015</p> <p>2. 浅川育世（編）：地域理学療法学第2版，医歯薬出版：2015</p>	
成績評価	レポート課題（80%）、講義内課題（20%）により認定する。	
オフィスアワー	<p>竹林：水曜日 5限</p> <p>なお、講義後も質問を受けつけます。</p> <p>また、電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。</p>	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	<p>竹林 秀晃 実務経験：平成 9年4月～平成10年3月 京都大学医学部附属病院に理学療法士として研修 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、大学病院での臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。また、行政や近隣住民の体操教室への関わりと通して地域リハビリテーションに関する研究を行っている。</p> <p>滝本 幸治 実務経験：平成12年4月～平成15年6月 北出病院に理学療法士として勤務 平成15年7月～平成17年3月 介護老人保健施設リパティ博愛に理学療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、講義は、一般病院・老人保健施設での臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。また、行政や近隣住民の体操教室への関わりと通して地域リハビリテーションに関する研究を行っている。</p>	

統合科目
(作業療法学専攻)

履修	科目 区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数	時 間 数	配 当 年 次	学 期
必修	総合	作業療法臨床評価実習	実習	3	135	2	後期
担当教員							
科目責任者	石附智奈美、畑田早苗、片岡聡子、箭野 豊、萩原賢二、桂 雅俊					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
<p>2年次に医療機関もしくは福祉施設にて3週間の実習を行う。作業療法士として必要な情報収集から障害像の把握、検査・測定等を通じて、問題点の抽出までを範囲とする。この実習を通して作業療法評価のプロセスと基本的評価技術を系統的かつ段階的に経験し、障害評価の基本的理解と実践力を身につける。</p> <p>実習方法は、実習生として診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型臨床実習に基づき、様々な疾患・状態の対象者に対して基本的な検査・測定等を適切に実施することを学修する。また、他部署からの情報収集を通して多職種連携についての重要性を理解する。施設実習終了後には、学内にて実習で経験した内容を成果報告会としてプレゼンテーションを行う。</p>							
学 習 目 標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実際の症例に関する情報収集や、実際の症例に対する医療面接を経験し、実践力を養う。 2. 実際の症例に対して基本的な作業療法評価を実践し、これまでに学修した知識や技術を再確認する。 3. 収集した情報や実践した作業療法評価に基づき、対象者の状況を統合・解釈し、問題点の抽出までの一連の作業療法過程を経験し、理解を深める。 4. 成果報告会で対象者の統合と解釈、問題点抽出などについてディスカッションし、理解を深める。 5. 臨床における多職種連携についての重要性を理解する。 							
対応CP	CP1 <input checked="" type="checkbox"/> CP2 <input checked="" type="checkbox"/> CP3 <input type="checkbox"/> CP4 <input type="checkbox"/> CP5 <input checked="" type="checkbox"/> CP6 <input checked="" type="checkbox"/> CP7 <input type="checkbox"/> CP8 <input type="checkbox"/> CP9 <input type="checkbox"/>					主要授業科目	
対応DP	DP1 <input type="checkbox"/> DP2 <input checked="" type="checkbox"/> DP3 <input checked="" type="checkbox"/> DP4 <input checked="" type="checkbox"/> DP5 <input checked="" type="checkbox"/> DP6 <input checked="" type="checkbox"/> DP7 <input type="checkbox"/>					○	
授 業 計 画							
内 容						担 当 教 員	
実 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1) 事前学習・実習オリエンテーション 実習オリエンテーションでは、本実習の概要、学生の持参するもの、心得・責務などについて説明する。 2) 臨地実習 実習生が診療チームの一員として加わり、実習指導者の指導・監督のもとで診療参加型臨床実習（Clinical ClerkShip）を実施する。実際の症例に対し、まず医療面接を行うとともに観察や診療記録からの情報収集を経験する。次に、基本的な理学療法評価を実践する。情報収集や理学療法評価結果の内容に基づき、統合と解釈、問題点抽出までの一連の理学療法過程を経験する。 3) 成果報告会 本実習で経験した一症例について、実施した情報収集、作業療法評価、統合・解釈、問題点の抽出などの内容を、臨床実習成果報告書にまとめる。作成した報告書を用いて、成果報告会で報告する。成果報告会を通して、文章作成能力や説明能力の向上、理解の深化を促すとともに、本実習後における学修の到達度を評価する。 					全 員	

授業時間外学習（事前事後の予習復習）

施設実習前には、学修目標を立てること。実習での経験をポートフォリオ、成果報告書にまとめる。
授業時間外学習は、施設実習指導者・巡回教員と相談しながら進めること。

教科書	学内で使用している教科書すべて
参考図書	「臨床実習の手引き」を配付する
成績評価	施設指導者からの評価（40%）、成果報告書のプレゼンテーション（30%）、ポートフォリオ（20%）、実習の振り返り状況（10%）とを総合的に判定する。
オフィスアワー	学外での実習のため、適時受け付けます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	

教育課程等の概要（作業療法学専攻）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考
						必修	選択	講義	演習	実験・実習		
初年次科目	10011	ラーニングリテラシー	1前		15	1			○		宮口 英樹、竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、石附智奈美、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、近藤 寛、渡邊 家泰、桂 雅俊	共同
	10021	情報リテラシー	1前		15	1			○		竹林 秀晃、近藤 寛、渡邊 家泰、稲富 惇一	共同
	10031	初年次IPE演習	1前		15	1			○		宮口 英樹、竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、石附智奈美、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、近藤 寛、渡邊 家泰、桂 雅俊	共同
教養基礎科目	人間の探求	10041	人間科学概論	1前		30	2		○		李 賢珠：博士(文化人類学) <非常勤講師>	
		10051	心理学	1後		30	2		○		繁樹 博昭：博士(心理学)高知工科大学 <非常勤講師> 島根 大輔：博士(心理学)高知工科大学 <非常勤講師> 伊崎 翼：博士(学術)高知工科大学 <非常勤講師>	
		10061	生命倫理学	1前		15		1	○		岩佐 光広：博士(学術)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
		10071	医療人類学	1後		15		1	○		李 賢珠：博士(文化人類学) <非常勤講師>	
	社会の探求	10081	社会学概論	1前		30	2		○		秋谷 公博：博士(国際地域学)高知県立大学 准教授 <非常勤講師>	
		10091	情報と社会	1後		15	1		○		兵頭 勇己：博士(医学)高知大学 助教 <非常勤講師>	
		10101	法律と社会	1後		15		1	○		村岡 晃：高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 企業長 <非常勤講師>	
	自然の探求	10111	教育と社会	1後		15		1	○		石山 貴章：博士(社会福祉学)高知県立大学 教授 <非常勤講師>	
		10123	データサイエンス	3前		30	2		○		兵頭 勇己：博士(医学)<非常勤講師> 高知大学 助教 <非常勤講師>	
		10131	災害と共に生きる	1前		15	1		○		原 忠：博士(工学)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
10141		ライフサイエンス生物学	1前		15		1	○		大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 <非常勤講師>		
言語の探求	10151	バイオメカニクス	1後		15		1	○		榎 勇人		
	10161	基礎英語	1前		30	2		○		宮本 祥子		
	10171	コミュニケーション論	1前		15	1			○	筒井典子：修士(学術) 人・みらい研究所 代表 <非常勤講師> 中村 寛：人・みらい研究所 <非常勤講師>	共同	
	10181	コミュニケーション英語	1後		15		1		○	李 賢珠：博士(文化人類学) <非常勤講師> 福江 満子：修士(教育学) <非常勤講師>		
	10191	異文化コミュニケーション(中国語)	1後		15		1		○	岡崎 桂禎：高知県国際交流協会 <非常勤講師>		
保健体育	10201	スポーツ実践	1前		30	2			○	神家 一成：高知大学名誉教授 <非常勤講師>		
小計(20科目)			-	-		18	8		-			
専門基礎科目	リハビリテーション基礎医学	11011	解剖学 I	1前	○	30	2		○		大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
		11021	解剖学 II	1後	○	30	2		○		大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
		11031	骨学筋学 I	1前		15	1			○	岡部 孝生	共同
		11041	骨学筋学 II	1後		15	1			○	岡部 孝生	共同
		11042	体表解剖学	2前		15	1			○	岡部 孝生	
		11052	組織学	2後		15	1			○	大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 <非常勤講師>	
		11061	生理学 I	1前	○	30	2		○		梶 秀人	
		11071	生理学 II	1後	○	30	2		○		梶 秀人	
		11081	生理学演習 I	1前		15	1			○	近藤 寛、渡邊 家泰	共同
		11091	生理学演習 II	1後		15	1			○	近藤 寛、渡邊 家泰	共同
		11103	応用解剖生理学	3後		15	1			○	梶 秀人、岡部 孝生	オムニバス
		11111	身体運動学 I	1前	○	30	2			○	宮本 謙三、井上 佳和	
		11121	身体運動学 II	1後	○	30	2			○	宮本 謙三、井上 佳和	
		11132	運動生理学	2前		30	2			○	宅間 豊	
11141	人間発達学	1前		30	2			○	宮本 謙三			
11142	脳科学概論	2後		30	2			○	繁樹 博昭：博士(心理学)高知工科大学 <非常勤講師> 竹田昂典：博士(医学)高知工科大学 <非常勤講師> 門田 宏：博士(学術)<高知工科大学 <非常勤講師>			
11152	医学英語	2前		15	1			○		宮本 祥子		
小計(17科目)			-	-		26			-			

教育課程等の概要（作業療法学専攻）

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考	
					必 修	選 択	講 義	演 習	実 験・ 実習			
臨床 医学	11161	リハビリテーション医学	1後	15	1		○			井上佳和		
	11171	病理学	1後	30	2		○			椋 清美：博士（保健学）高知学園大学＜非常勤講師＞		
	11182	内科学	2前	30	2		○			小島 研介：高知大学＜非常勤講師＞ 船越 生吾：高知大学＜非常勤講師＞ 田口 崇文高知大学＜非常勤講師＞ 刑部 有紀：高知大学＜非常勤講師＞ 猪谷 哲司：高知大学＜非常勤講師＞ 平野 世紀：高知大学＜非常勤講師＞ 岩崎 信二：博士(医学) 土佐田村病院副院長 消化器内科	オムニバス	
	11192	神経内科学	2後	30	2		○			森田ゆかり：高知大学＜非常勤講師＞ 大崎 康史：高知大学＜非常勤講師＞ 橋本 侑：高知大学＜非常勤講師＞ 田辺 裕久：朝倉病院 理事長 山崎 直仁：高知大学＜非常勤講師＞ 馬場 裕一：高知大学＜非常勤講師＞ 北岡 裕章：高知大学＜非常勤講師＞		
	11202	整形外科学	2前	30	2		○			宅間 豊 池内 昌彦：博士(医学) 高知大学＜非常勤講師＞ 戎 正司：近森病院 総合診療センター	オムニバス	
	11212	精神医学	2前	30	2		○			藤田博一：高知大学医学部附属医学教育創造センター＜非常勤講師＞ 玉元 徹：南国病院＜非常勤講師＞ 藤戸良子：高知大学医学部附属病院＜非常勤講師＞ 赤松正規：高知大学医学部附属病院＜非常勤講師＞ 島崎 洋成：医学博士 田野病院＜非常勤講師＞	オムニバス	
	11222	小児科学	2後	30	2		○			島崎 洋成：医学博士 田野病院＜非常勤講師＞		
	11232	臨床心理学	2後	30	2		○			鹿間 淳史：修士(児童学)高知ハーモニーホスピタル＜非常勤講師＞		
	11243	臨床栄養学	3前	15	1		○			大坪 豊寿：田中整形外科病院＜非常勤講師＞		
	11253	臨床薬理学	3前	15	1		○			長崎 大武：プラス薬局＜非常勤講師＞		
	11263	救急救命処置演習	3後	15	1			○		武田 陽平：高知赤十字病院＜非常勤講師＞		
		小計（11科目）	-	-	18			-				
	保健 医療 福祉	11271	リハビリテーション概論	1前	15	1		○			宮本 謙三、宅間 豊	オムニバス
		11282	健康科学概論	2前	30	2		○			宮口 英樹、川村 博文	オムニバス
11292		社会福祉学概論	2後	30	2		○			稲垣 佳代：修士(社会福祉学) 高知県立大学＜非常勤講師＞		
11303		災害リハビリテーション	3後	15	1			○		森下 誠也：修士(医科学) 田野病院＜非常勤講師＞ 淡野 義長：長崎医療技術専門学校 校長＜非常勤講師＞	オムニバス	
11314		国際リハビリテーション学	4前	15	1		○			宮口 英樹、椛 秀人、榎 勇人、竹林 秀晃、石附智奈美、玉垣 努、 奥田 教宏、宮本 祥子	オムニバス	
11323		福祉住環境論	3前	15	1			○		井上 佳和、稲富 惇一	共同	
		小計（6科目）	-	-	8			-				
	小計（34科目）	-	-	52			-					

教育課程等の概要（作業療法学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考		
					必修	選択	講義	演習	実験・実習				
専門科目（作業療法学専攻）	基礎作業療法学	32011	作業療法学概論	1前	○	30	1		○		宮口 英樹		
		32021	基礎作業学	1後		15	1			○		稲富 惇一	
		32032	基礎作業学実習	2前		30	1				○	萩原 賢二 西邨 出：株式会社 陽和工房 房主 <非常勤講師>	オムニバス
		32042	作業分析学	2前		15	1		○			畑田 早苗、萩原 賢二	オムニバス
		32054	作業療法管理学	4前		15	1		○			玉垣 努、片岡 聡子	オムニバス
		32063	作業療法教育学	3後		15	1		○			片岡 聡子	
		小計（6科目）	-	-			6			-			
	作業療法評価学	32071	作業療法評価学	1後	○	30	1		○			箭野 豊	
		32082	作業療法評価学実習	2後		30	1			○		萩原 賢二、稲富 惇一	共同
		32091	身体機能評価学実習	1後		30	1			○		桂 雅俊、稲富 惇一	共同
		32102	精神機能評価学実習	2前		30	1			○		畑田 早苗、萩原 賢二	共同
		32112	神経機能評価学実習	2前		30	1			○		片岡 聡子、箭野 豊	共同
		32122	発達機能評価学実習	2後		30	1			○		石附智奈美	
		小計（6科目）	-	-			6			-			
	作業療法治療学	32132	身体機能作業療法学Ⅰ	2前	○	30	1		○			片岡 聡子	
		32142	身体機能作業療法学Ⅱ	2後		30	1		○			國友 晃：愛宕病院<非常勤講師>	
		32153	身体機能作業療法学実習	3前		30	1			○		片岡 聡子、玉垣 努、箭野 豊	オムニバス 共同(一部)
		32162	高次脳機能作業療法学	2後		30	1		○			稲富 惇一	
		32172	精神機能作業療法学Ⅰ	2前	○	30	1		○			畑田 早苗	
		32182	精神機能作業療法学Ⅱ	2後		30	1		○			畑田 早苗	
		32193	精神機能作業療法学実習	3前		30	1			○		畑田 早苗	
		32203	運動器作業療法学	3前		30	1		○			玉垣 努、桂 雅俊	オムニバス
		32213	高齢期作業療法学	3後		30	1		○			萩原 賢二、桂 雅俊	オムニバス
		32223	発達過程作業療法学	3前	○	30	1		○			石附智奈美	
		32233	発達過程作業療法学実習	3後		30	1			○		石附智奈美、稲富 惇一	共同
		32243	内部機能作業療法学	3後		30	1		○			大重 匡、安岡 希和	オムニバス
		32252	日常生活活動学	2後		30	1		○			桂 雅俊	
		32263	日常生活活動学実習	3前		30	1			○		玉垣 努、桂 雅俊	共同
		32273	義肢装具学	3前		30	1		○			石井 誠二：博士(医学) 総合病院回生病院<非常勤講師>	
	32282	生活行為向上マネジメント演習	2後		15	1			○		桂 雅俊、稲富 惇一	共同	
	32293	職業関連活動学	3後			1			○		桂 雅俊、玉垣 努、畑田 早苗、石附智奈美	オムニバス 共同(一部)	
		小計（17科目）	-	-			17			-			
地域療法	32302	地域リハビリテーション学	2後	○	15	1		○			竹林 秀晃 滝本 幸治：博士(医学)奈良学園大学<非常勤講師>	オムニバス	
	32313	地域作業療法学	3後		15	1		○			佐藤 孝臣：株式会社ライフリー <非常勤講師>	オムニバス	
	32323	多職種連携教育	3後		15	1			○		宮崎 宏興：NPO法人いねいぶる <非常勤講師>	オムニバス 共同(一部)	
		小計（3科目）	-	-			3	0		-			
	小計（32科目）	-	-			32			-				
専門科目（両専攻）	発展科目A	14013	筋骨格系リハビリテーション	3前		15		1		○		管原 仁、岡部 孝生	オムニバス
		14023	認知のリハビリテーション	3前		15		1	○			石附智奈美、畑田 早苗	オムニバス
		14033	痛みのサイエンス	3前		15		1	○			奥田 教宏、岡部 孝生	オムニバス
		14043	予防リハビリテーション	3前		15		1	○			大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授<非常勤講師>	オムニバス
		14053	ニューロサイエンス	3後		15		1	○			竹林 秀晃、桂 雅俊	オムニバス
		14063	スポーツサイエンス	3後		15		1	○			榎 勇人、玉垣 努	オムニバス
		14073	ヘルスプロモーション	3後		15		1	○			管原 仁	
		14083	がんリハビリテーション	3後		15		1	○			近藤 寛、安岡 希和	オムニバス
		小計（8科目）	-	-			8			-			
	発展科目B	14093	社会自立支援技法	3前		15		1		○		宮口 英樹、畑田 早苗、萩原 賢二、渡邊 家泰	共同
		14103	児童発達支援技法	3前		15		1		○		石附智奈美、宮本 謙三、片岡 聡子、箭野 豊	共同
14113		地域社会支援技法	3前		15		1		○		竹林 秀晃、奥田 教宏、近藤 寛、桂 雅俊	共同	
	小計（3科目）	-	-			3			-				
	小計（11科目）	-	-			11			-				

教育課程等の概要（作業療法学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考
					必修	選択	講義	演習	実験・実習		
総合科目（作業療法臨床実習）	36013 臨床技能演習Ⅰ	3後		15	1			○		石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
	36024 臨床技能演習Ⅱ	4前		15	1			○		石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
	36031 早期臨床体験実習	1通		45	1			○		畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
	36042 作業療法臨床評価実習	2後	○	135	3			○		石附智奈美、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
	36053 作業療法臨床総合実習Ⅰ	3後	○	270	6			○		石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
	36064 作業療法臨床総合実習Ⅱ	4前	○	630	14			○		石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
	36074 作業療法地域実習	4前		45	1			○		石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
	小計（7科目）	-	-		27			-			
作業療法専攻（統合科目）	36083 作業療法特論Ⅰ	3通		15	1			○		山本 伸一：日本作業療法士協会 会長 <非常勤講師> 柏原 謙造：万成病院 <非常勤講師>	オムニバス
	36094 作業療法特論Ⅱ	4通		15	1			○		二神 雅一：株式会社創心會 代表 <非常勤講師> 鶴見 隆彦：修士(保健学) 湘南医療大学 <非常勤講師>	オムニバス
	36104 作業療法総合演習	4後		60	2			○		宮口 英樹、椛 秀人、玉垣 努、石附智奈美、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
		小計（3科目）	-	-		4			-		
作業療法研究	36113 作業療法研究法	3前	○	30	1			○		箭野 豊、椛 秀人、玉垣 努、片岡 聡子、萩原 賢二、石附智奈美	オムニバス
	36123 作業療法セミナー	3前		30	1			○		宮口 英樹、椛 秀人、玉垣 努、石附智奈美、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
	36134 卒業研究	4通	○	90	3			○		宮口 英樹、椛 秀人、玉垣 努、石附智奈美、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同
		小計（3科目）	-	-		5			-		
	小計（3科目）	-	-		36			-			
合計（155科目）		-	-		138	19		-			

卒業要件及び履修方法

<作業療法学専攻>

- ①教養基礎科目「初年次科目」「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」「保健体育」の全20科目26単位から必修18単位を含む22単位以上を履修、選択科目は「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」の8科目8単位からそれぞれ1単位以上修得する。
- ②専門基礎科目「リハビリテーション基礎医学」「臨床医学」「保健医療福祉」の必修34科目52単位を修得する。
- ③専門科目では、「基礎作業療法」「作業療法評価学」「作業療法治療学」「地域作業療法」の必修32科目32単位を修得する。「発展科目A」選択8科目8単位から4科目4単位、「発展科目B」選択3科目3単位から1単位修得、計37単位を修得する。
- ④総合科目「作業療法臨床実習」「作業療法統合科目」「作業療法研究」の必修13科目36単位を修得する。
- ⑤卒業要件単位数は、合計147単位以上を修得する。

